令和　7　年度

主　要　施　策　の　成　果　報　告　書

稲美町イメージキャラクター
いなっち

稲　美　町

目　　次

款	事　業　名	頁	担当課
総務費	デマンド型乗合タクシー運行事業	1	企画課
	ふるさと納税推進事業	2	企画課
	総合計画等策定事業	3	企画課
	町制施行70周年記念事業	4	企画課
民生費	町制施行70周年記念ラジオ体操事業	5	健康福祉課
	住民税非課税世帯に対する給付金給付事業	6	地域福祉課
	見守りカメラ維持管理事業	7	危機管理課/健康福祉課
	防犯灯・街灯維持管理事業	8	危機管理課
	障がい福祉計画等策定事業	9	地域福祉課
	障がい者緊急短期入所支援事業	10	地域福祉課
	高齢者優待利用券交付事業	11	健康福祉課
	加古福祉会館空調設備改修（実施設計）事業	12	健康福祉課
	出産お祝い金支給事業	13	こども課
	こどもの居場所づくり支援事業	14	こども課
	若者応援クーポン給付事業(※)	15	こども課
	保育所緊急整備事業(※)	16	こども課
	物価高対応子育て応援手当支給事業(※)	17	こども課
	町制施行70周年記念親子コンサート事業	18	こども課
	いなみっこ広場一時預かり保育事業	19	こども課
衛生費	妊婦等包括支援事業	20	こども課
	産後ケア事業	21	こども課
	子どもの任意予防接種助成事業	22	こども課
	町制施行70周年記念地球温暖化防止講演会事業	23	生活環境課
	電気自動車等普及促進事業	24	生活環境課
	水道事業会計支出事業	25	水道課
	広域ごみ処理事業	26	生活環境課
農林水産業費	有機農業推進事業	27	産業課
	多面的機能支払事業	28	産業課
	基幹水利施設整備事業	29	産業課
	水利施設等保全高度化事業	30	産業課
	農村地域防災減災事業	31	産業課
	農業水路等長寿命化・防災減災事業	32	産業課
	干ばつ応急対策支援事業(※)	33	産業課
	水利施設管理強化事業(※)	34	産業課
商工費	商工業振興補助事業	35	産業課
	町制施行70周年記念花火大会実施事業	36	産業課
	にぎわい創出補助事業	37	産業課
	稲美町プレミアム付商品券事業	38	産業課
土木費	町道維持補修事業	39	土木課
	町道草谷学校線歩道整備事業	42	土木課
	親元近居住宅取得等支援補助事業	44	都市計画課
	沿道活性化にぎわいづくり補助事業	45	都市計画課
	土地利用計画策定事業（市街化調整区域）	46	都市計画課

目　　次

款	事　業　名	頁	担当課
土木費	田園集落まちづくり住宅新築促進事業	47	都市計画課
	稲美北東部地区整備計画等策定事業	48	都市計画課
	菊徳地区土地区画整理事業	49	都市計画課
	いなみアクアプラザ大規模改修（実施設計）事業	50	都市計画課
	稲美中央公園全体構想策定事業	51	都市計画課
消防費	消防団員処遇改善事業	52	危機管理課
教育費	ＩＣＴ利活用学校支援事業	53	教育課
	幼・小・中一貫した国際理解教育推進事業	54	教育課
	稲美町いじめ防止対策推進条例策定事業	55	教育課/人権教育課
	不登校児童生徒支援事業	56	人権教育課
	デジタル教科書推進事業	57	教育課
	天満小学校長寿命化改修事業	58	教育課
	小学校屋内運動場空調設備設置（実施設計）事業(※)	59	教育課
	小学校体育館照明設備等更新事業	60	教育課
	中学校屋内運動場等空調設備設置（実施設計）事業(※)	61	教育課
	中学校エレベーター設置事業	62	教育課
	中学校部活動地域移行推進事業	63	教育課/生涯学習課/文化の森課
	人権教育啓発事業	64	人権教育課
	放課後児童クラブ管理運営事業	65	教育課
	町史編さん事業	66	生涯学習課
	文化会館舞台音響設備等改修事業	67	文化の森課
	子どもの読書活動推進計画策定事業	68	文化の森課
	トップアスリート招待事業	69	生涯学習課
	いなみ野体育センター空調設備設置事業	70	生涯学習課
	学校給食費管理事業	71	教育課
水道	西部配水場更新事業	72	水道課
	稲美町水道事業経営戦略策定事業	73	水道課
下水道	稲美町下水道事業経営戦略策定事業	74	水道課
	下水道広域化推進総合事業	75	水道課
－	町制施行70周年記念事業　主要事業一覧	77	

（※）　補正予算等により措置した主要施策

（注）　稲美北東部地区土地利用基本計画策定事業、アーバンスポーツ施設整備事業については、令和7年度の予算の主要施策に掲載していましたが、全額を令和8年度に明許繰越しているため、令和8年度の主要施策の成果報告書に掲載する予定です。

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	デマンド型乗合タクシー運行事業	担当課	企画課

科目						
款	2　総務費	項	1　総務管理費	目	6　企画費	
事業	5　交通アクセス推進事業			事業費	15,257,304 円	

事業目的	稲美町地域公共交通計画の基本理念「ともに支え 未来につなぐ いなみの公共交通」に基づき、既存の路線バスを補完する形でデマンド型乗合タクシー「あいのりいなみ」を運行し、高齢者をはじめとする地域住民の日常生活における町内交通手段の確保を図る。
事業内容	【実績】 ・運行日/運行便数 月曜日から金曜日の1日7便(土・日・祝日・年末年始を除く) ・利用料金 1日1回町内400円、町外800円(65歳以上の人などは町内200円、町外400円) 65歳以上の人などの運転免許証返納者は、申込から1年間は無料 ・発着点 定められた目的地及び自宅 ・登録者数(令和8年3月末時点) 934人(無料利用特典のべ登録者数　138人) ・年間利用回数 6,736回（うち、無料利用特典利用回数　830回） 【参考】(令和6年度)年間利用回数　6,245回（うち、無料利用特典利用回数　942回）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	15,257,304	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		15,257,304	円
計	15,257,304	円	計		15,257,304	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	21,405,000	円	20,267,000	円	1,138,000	円
決算額	15,257,304	円	12,114,778	円	3,142,526	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	ふるさと納税推進事業	担当課	企画課

科目						
款	2　総務費	項	1　総務管理費	目	6　企画費	
事業	8　ふるさと納税推進事業			事業費	101,902,212 円	

事業目的	ふるさと納税の返礼品を充実させるなど、町外に向けて情報発信を行い、ふるさと意識の醸成を図る。また、返礼品を提供する「ふるさと納税協力企業」を増やすことで、地域産業の振興につなげるとともに、自主財源の確保に寄与する。

事業内容

＜事業のながれ＞

【実績】

寄附件数：5,409件

寄附金額：208,744,000円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	65,320,936	円	特定財源			円
役務費	1,230,741	円				円
委託料	19,553,659	円				円
使用料及び賃借料	15,796,876	円				円
		円				円
		円	一般財源		101,902,212	円
計	101,902,212	円	計		101,902,212	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	134,684,000	円	156,463,000	円	△ 21,779,000	円
決算額	101,902,212	円	123,403,744	円	△ 21,501,532	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	総合計画等策定事業	担当課	企画課

科目						
款	2　総務費	項	1　総務管理費	目	6　企画費	
事業	11　総合計画等策定事業			事業費	4,056,721 円	

事業目的

令和3年度に策定した「第6次稲美町総合計画」の前期基本計画が令和8年度に終了することに伴い、引き続き基本理念である「ともにつくる 未来へつなぐ 稲美町」を実現するため、令和9年度から令和13年度を計画期間とする後期基本計画を、令和7年度と令和8年度の2か年で策定する。

また、「稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略」との一体的な運用を行うため、総合戦略の第3期計画も合わせて策定する。

事業内容

【実績】

≪総合計画≫

・住民アンケート調査の実施（対象者：町内在住の3,000人　有効回収率：43.2%）

・稲美町総合計画策定委員会　2回開催（12/9、2/18）

・稲美町総合計画審議会　3回開催（1/8、2/6、3/24）

≪総合戦略≫

・稲美町まち･ひと･しごと創生推進本部会議　2回開催（12/3、3/17）

・稲美町まち･ひと･しごと創生推進委員会　2回開催（12/24、3/23）

契約名：第6次稲美町総合計画後期基本計画・第3期稲美町まち･ひと･しごと創生総合戦略策定業務

契約先：株式会社日本都市計画研究所

契約期間：令和7年6月20日～令和9年3月31日

契約金額：7,810,000円（令和7年度 3,923,000円　令和8年度 3,887,000円）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	131,700	円	特定財源			円
需用費	2,021	円				円
委託料	3,923,000	円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		4,056,721	円
計	4,056,721	円	計		4,056,721	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	4,081,000	円	0	円	4,081,000	円
決算額	4,056,721	円	0	円	4,056,721	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	町制施行70周年記念事業	担当課	企画課

科目						
款	2　総務費	項	1　総務管理費	目	6　企画費	
事業	12 町制施行７０周年記念事業			事業費	8,817,396 円	

事業目的

昭和30（1955）年3月31日に稲美町が誕生してから70年を迎えることを祝い、稲美町を築きあげられた先人達に改めて感謝するとともに、今後とも住民一人ひとりがふるさとに愛着を持ち、「ともにつくる 未来へつなぐ 稲美町」を実現するため、町制施行70周年記念事業を実施する。

事業内容

【実績】

○町制施行70周年記念式典

日時：令和7年11月1日（土）午後1時30分～　場所：コスモホール

内容：町功労者表彰等（表彰：38人　感謝：68人）

○稲美町PR動画コンテスト

実施期間　令和7年6月2日～令和8年1月31日

応募件数：5件　表彰件数：3件（最優秀賞0件、優秀賞3件）

○町勢要覧作成事業

町勢要覧：令和7年7月完成　記念動画：令和7年7月完成

主な委託先：株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

契約期間：令和6年7月25日～令和7年7月31日

契約額：6,303,000円(令和6年度：3,828,000円　令和7年度：2,475,000円)

○町制施行70周年記念啓発事業

クリアファイル、缶バッジ、懸垂幕等の各種啓発グッズを作製

○住民企画支援事業補助金

3団体に補助金を交付

その他の70周年記念事業は、77頁～参照

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	1,648,245	円	特定財源			円
需用費	1,644,962	円				円
役務費	616,444	円				円
委託料	2,840,145	円				円
使用料及び賃借料	167,600	円				円
負担金補助及び交付金	1,900,000	円	一般財源		8,817,396	円
計	8,817,396	円	計		8,817,396	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	10,084,000	円	5,607,000	円	4,477,000	円
決算額	8,817,396	円	4,692,200	円	4,125,196	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	町制施行70周年記念ラジオ体操事業	担当課	健康福祉課

科目						
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	1　社会福祉総務費	
事業	15 町制施行７０周年記念ラジオ体操事業			事業費	410,078 円	

事業目的

住民が一堂に会して運動することにより、楽しさや喜びを享受し、健康で豊かに暮らすことができるよう、町制施行70周年記念事業「2025年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を実施し、住民の健康増進及び介護予防・フレイル予防を図る。

事業内容

「巡回ラジオ体操・みんなの体操会」

1953年から毎年実施しており、5月から10月までの間、全国の会場でNPO法人全国ラジオ体操連盟、日本放送協会（NHK）及び株式会社かんぽ生命保険の三者共同で主催しているイベントである。開催当日はNHKラジオ第1放送で生放送された。

【主催】　NPO法人全国ラジオ体操連盟、日本放送協会（NHK）、株式会社かんぽ生命保険
【共催】　稲美町
【日時】　令和7年8月14日（木）
　　午前6時～午前6時40分
【場所】　稲美中央公園
【参加方法】予約不要
　　当日先着での入場
【参加者数】830人

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	270,000	円	特定財源			円
需用費	48,778	円				円
委託料	91,300	円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		410,078	円
計	410,078	円	計		410,078	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	412,000	円	0	円	412,000	円
決算額	410,078	円	0	円	410,078	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	住民税非課税世帯に対する給付金給付事業	担当課	地域福祉課

科目						
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	1　社会福祉総務費	
事業	85 住民税非課税世帯に対する給付金給付事業に要する職員給与費（明） 86 住民税非課税世帯に対する給付金給付事業（明）			事業費	94,707,703　円	

事業目的	
	国の経済対策に基づき、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響が大きい住民税非課税世帯の負担軽減を図るため、国の交付金を活用した給付金を給付する。

事業内容	
	●対象世帯 基準日（令和6年12月13日）時点において、稲美町の住民基本台帳に登録されている世帯のうち、世帯全員の令和6年度分の住民税均等割が非課税である世帯（世帯全員が、住民税が課税されている他の親族等の扶養を受けている世帯を除く） ●支給額 1世帯当たり3万円（18歳以下（平成18年4月2日以降生まれ）の児童がいる場合、こども加算として、児童1人あたり2万円を加算） ●支給実績 2,845世帯（うち、こども加算　178世帯・326人）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	641,964	円	特定財源	国庫支出金	94,707,000	円
職員給与費	1,379,026	円				円
旅費	12,540	円				円
需用費	100,665	円				円
役務費	362,508	円				円
委託料	176,000	円				円
使用料及び賃借料	165,000	円				円
負担金補助及び交付金	91,870,000	円	一般財源		703	円
計	94,707,703	円	計		94,707,703	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	117,217,000	円	3,715,000	円	113,502,000	円
決算額	94,707,703	円	3,703,567	円	91,004,136	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	見守りカメラ維持管理事業	担当課	危機管理課 健康福祉課

科目						
会計	1　一般会計					
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	2　防犯対策費	
事業	1　防犯活動事業			事業費	11,421,393 円	
会計	4　介護保険特別会計					
款	3　地域支援事業	項	3　包括支援事業・在宅福祉事業	目	2　在宅福祉事業費	
事業	1　在宅福祉事業			事業費	52,030 円	

事業目的

町内全域に設置した町が管理・運用する見守りカメラにより、通学時や外出時の住民の安全確保を図る。また、見守りタグ（BLEタグ）を持った人がカメラの近くを通過すると利用者に通知が送られる見守りサービスの普及のため、希望する小学校1年生や認知症高齢者等の見守りサービスの利用料金等を町が負担し、利用促進を図る。

事業内容

●見守りサービス利用料負担金等

小学校1年生や認知症高齢者等の見守りサービス利用料等を町が負担し利用を促進した。

○小学校1年生			○認知症高齢者		
初期登録料	24人	63,270 円	初期登録料	11人	30,250 円
月額利用料	延べ227月	97,020 円	月額利用料	延べ66月	21,780 円

●稲美町見守りカメラ維持管理費用

令和6年度に整備を行った見守りカメラ107台の維持管理を行った。

① 稲美町見守りカメラ保守委託料　8,713,650 円

契約相手方：ALSOK株式会社　姫路支社

稲美町見守りカメラ維持管理業務	6,237,000 円
稲美町見守りカメラ維持管理体制整備業務	1,854,600 円
見守りカメラ検知器設置業務	622,050 円

② 見守りカメラ電気料金　767,433 円

③ システム使用料及び見守りカメラ電柱共架料　1,780,020 円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	767,433	円	特定財源			円
委託料	8,713,650	円				円
使用料及び賃借料	1,780,020	円				円
負担金補助及び交付金	212,320	円				円
		円	一般財源		11,473,423	円
計	11,473,423	円	計		11,473,423	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	13,847,000	円	87,203,000	円	△ 73,356,000	円
決算額	11,473,423	円	85,897,508	円	△ 74,424,085	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	防犯灯・街灯維持管理事業	担当課	危機管理課

科目						
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	2　防犯対策費	
事業	2　防犯灯・街灯維持管理事業			事業費	56,819,695 円	

事業目的

防犯灯・街灯を計画的に増設することにより、夜間における歩行者の安全確保と犯罪の防止を図る。

また、JA兵庫南の稲美有線放送の事業廃止に伴い、有線柱に共架されている防犯灯・街灯の移設工事を行う。

事業内容

（光熱水費）

・防犯灯3,755灯の電気料金　7,647,646 円

（修繕料）

・スイッチ交換	58か所	388,850 円
・器具交換	24か所	468,534 円
・その他修繕（配線修理等）		425,260 円
		1,282,644 円

（委託料）

・稲美町防犯灯・街灯新設等審査業務委託料　418,000 円

事 業 者：公益社団法人大阪技術振興協会

履行期限：令和7年6月30日まで

（防犯灯・街灯新設工事）

防犯灯	82灯	自治会要望分	1,403,970 円
街灯	33灯	町計画・事故対応	1,572,435 円
	115灯	JA兵庫南自営柱撤去移設（142灯）	44,495,000 円

施工業者：株式会社きんでん　姫路支店

工　　期：令和7年6月16日から令和8年3月31日

47,471,405 円

【効果】

夜間における歩行者の安全確保と犯罪防止

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	8,930,290	円	特定財源	寄附金	1,000,000	円
委託料	418,000	円		諸収入	3,000,000	円
工事請負費	47,471,405	円				円
		円	一般財源		52,819,695	円
計	56,819,695	円	計		56,819,695	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	59,252,000	円	24,005,000	円	35,247,000	円
決算額	56,819,695	円	20,184,598	円	36,635,097	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	障がい福祉計画等策定事業	担当課	地域福祉課

科目						
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	3　障害福祉費	
事業	5　地域生活支援事業			事業費	2,420,000 円	

事業目的

障害者総合支援法及び障害者基本法に基づき、障がい福祉の向上を図ることを目的とした第8期いなみ障がい福祉計画および第4次稲美町障害者基本計画を策定し、関連する他の福祉計画等との整合性を図り、地域共生社会の実現に向けた施策を推進する。

事業内容

【実績】

・令和7年度、令和8年度の2か年で計画を策定

・指名競争入札による委託業者の決定

・稲美町障害者福祉推進協議会において審議(11/14)　(委員数10人)

・アンケート調査の実施　対象者1,300人

[町内在住の障害者手帳所持者等　1,000人
障害者手帳非所持者　300人]

・アンケート調査の集計

契約先　株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

契約期間　令和7年8月15日～令和9年3月31日

契約金額　令和7年度　2,420,000円　令和8年度　2,497,000円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	2,420,000	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		2,420,000	円
計	2,420,000	円	計		2,420,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	2,973,000	円	0	円	2,973,000	円
決算額	2,420,000	円	0	円	2,420,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	障がい者緊急短期入所支援事業	担当課	地域福祉課

科目						
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	3　障害福祉費	
事業	5　地域生活支援事業			事業費	930,248 円	

事業目的

障がい者の介護を行う保護者等の疾病その他の理由により当該障がい者が一時的に保護を必要とする場合に、緊急に短期入所を利用するための空床を確保することにより、障がい者及びその保護者等の福祉の向上を図る。

事業内容

◆町内の短期入所施設に常時の空床を確保し、保護者等の緊急時に利用できる体制を構築した。

〈協力施設〉

施設名	所在地	運営主体	確保数
つくしの家パル	加古3685-4	特定非営利活動法人 稲美町つくしとすぎなの会	１床

○空床確保

令和7年10月開始（１床）

○登録状況

令和7年6月登録申請受付開始

登録者数：19人

決算額

歳　出		歳　入（財源内訳）		
扶助費	930,248 円	特定財源	国庫支出金	263,398 円
	円		県支出金	131,622 円
	円			円
	円			円
	円			円
	円	一般財源		535,228 円
計	930,248 円	計		930,248 円

	当年度	前年度	増減
予算現額	996,000 円	0 円	996,000 円
決算額	930,248 円	0 円	930,248 円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	高齢者優待利用券交付事業	担当課	健康福祉課

科目						
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	4　高齢者福祉費	
事業	6　高齢者優待利用券交付事業			事業費	38,451,232 円	

事業目的

65歳以上の高齢者に対し、タクシー及びバス料金の一部を助成することにより、高齢者の交通手段の確保と負担の軽減を図るとともに、生活行動範囲及び社会参加の拡大を支援する。

事業内容

【実績】

○ 対象者数　6,735人　（　65～74歳　735人　75歳以上　6,000人 ）

○ 交付者数　3,001人　（　65～74歳　154人　75歳以上　2,847人 ）

○ 交付率　44.6%　（　65～74歳　21.0%　75歳以上　47.5% ）

○ 利用金額　35,576,500円

《内訳》

タクシー券		バス券	
交付枚数	169,074枚	交付冊数	6,114冊
利用枚数	58,889枚	利用冊数	5,110冊
利用率	34.8%	利用率	83.6%
利用金額	29,444,500円	利用金額	6,132,000円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	190,966	円	特定財源			円
需用費	1,205,972	円				円
役務費	1,477,794	円				円
扶助費	35,576,500	円				円
		円				円
		円	一般財源		38,451,232	円
計	38,451,232	円	計		38,451,232	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	40,669,000	円	39,694,000	円	975,000	円
決算額	38,451,232	円	35,656,027	円	2,795,205	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	加古福祉会館空調設備改修（実施設計）事業	担当課	健康福祉課

科目						
款	3　民生費	項	1　社会福祉費	目	9　社会福祉施設費	
事業	4　加古福祉会館管理運営事業			事業費	2,211,000 円	

事業目的

災害時の福祉避難所に指定されている加古福祉会館の空調設備は、竣工から28年（多目的ホールは22年）が経過し、老朽化が進んでいることから、改修のための実施設計を行う。

事業内容

【空調設備改修等設計業務】

契約額　　2,211,000円

契約者　　嶋本一級建築士事務所

履行期間　　令和7年5月31日～8月31日

○空調方式

本館：EHP（電気式・マルチ）

多目的ホール：氷蓄熱方式

多目的ホールロビー：EHP（電気式・シングル）

○改修概要

	空調設備		照明設備	備考
	室外機	室内機		
本館	3台	8台	136灯	
多目的ホール	2台	5台	32灯	照明15灯は令和6年度改修済
計	5台	13台	168灯	

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	2,211,000	円	特定財源	町債	1,600,000	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		611,000	円
計	2,211,000	円	計		2,211,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	2,317,000	円	0	円	2,317,000	円
決算額	2,211,000	円	0	円	2,211,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	出産お祝い金支給事業	担当課	こども課

科目						
	款	3　民生費	項	2　児童福祉費	目	1　児童福祉総務費
	事業	12　出産お祝い金支給事業			事業費	7,920,130 円

事業目的	乳児が生まれた世帯にお祝い金を支給することにより、その出生を祝福するとともにこどもを生み育てやすい環境づくりを推進する。また、子育て世帯への経済的支援を行うことで、児童福祉の向上及び少子化対策の推進を図る。
事業内容	乳児の出産があった世帯に5万円分の稲美町共通商品券を支給した。 支給対象者　乳児の父または母 お祝い金の額　乳児1人につき5万円 支給方法　稲美町共通商品券を窓口で手渡し 【実績】 支給人数　158人

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	20,130	円	特定財源			円
負担金補助金及び交付金	7,900,000	円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		7,920,130	円
計	7,920,130	円	計		7,920,130	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	9,521,000	円	9,500,000	円	21,000	円
決算額	7,920,130	円	9,000,000	円	△ 1,079,870	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	こどもの居場所づくり支援事業	担当課	こども課

科目						
款	3　民生費	項	2　児童福祉費	目	1　児童福祉総務費	
事業	14　こどもの居場所づくり支援事業			事業費	1,766,120 円	

事業目的

地域でこども達の育ちを推進するため、食事提供や団らん等を通して、こども達が安全で安心して過ごすことができる「こどもの居場所づくり」を推進する。

事業内容

こどもが安全で安心して過ごせる居場所をつくることを目的として、こども又はその保護者を支援する活動を1年以上行っている団体に対して、経費の一部を補助する。

【実績】

○こどもの居場所づくり機運醸成事業
　実施団体：特定非営利活動法人　ゆるり家
　内　　容：「こどもにやさしいまちづくり」をテーマとした講座を実施
　補助金額：193,000円

○こども食堂事業
　実施団体：子ども食堂　ことこと
　内　　容：福祉会館等でこども食堂を実施
　補助金額：12,000円

○こどもの居場所事業
　実施団体：特定非営利活動法人　ゆるり家
　内　　容：稲美中学校内で校内居場所カフェを実施
　補助金額：525,000円

　実施団体：特定非営利活動法人　ゆるり家
　内　　容：稲美北中学校内で校内居場所カフェを実施
　補助金額：525,000円

　実施団体：特定非営利活動法人　ゆるり家
　内　　容：ふれあい交流館で放課後居場所カフェを実施
　補助金額：390,000円

　実施団体：国安イベント実行委員会
　内　　容：公民館を開放し、イベントや食事の提供を実施
　補助金額：116,000円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
旅費	5,120	円	特定財源	国庫支出金	1,045,000	円
負担金補助及び交付金	1,761,000	円				円
		円				円
		円	一般財源		721,120	円
計	1,766,120	円	計		1,766,120	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	3,072,000	円	881,000	円	2,191,000	円
決算額	1,766,120	円	435,000	円	1,331,120	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	若者応援クーポン給付事業	担当課	こども課

科目						
	款	3　民生費	項	2　児童福祉費	目	1　児童福祉総務費
	事業	15 若者応援クーポン給付事業			事業費	15,649,376 円

事業目的	物価高騰が長期化する中、学費や活動費等に影響を受けている高校生年代を対象に物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、デジタルクーポン（キャッシュレスポイントへの交換のほか、希望者にはカタログギフト商品に交換可能）を給付することで、多様な経験に触れる機会を応援する。
事業内容	高校生年代を対象に15,000円相当のデジタルクーポンを給付した。 【実績】 ・対象者　　：852人 ・受給者数　：848人 ・支給金額　：12,720,000円 ・業務委託料：15,649,376円（上記支給金額含む） ・委託先：株式会社JTB　姫路支店 ・契約期間：令和7年10月29日～令和8年3月31日

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	15,649,376	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		15,649,376	円
計	15,649,376	円	計		15,649,376	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	22,502,000	円	0	円	22,502,000	円
決算額	15,649,376	円	0	円	15,649,376	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	保育所緊急整備事業	担当課	こども課

科目						
款	3　民生費	項	2　児童福祉費	目	2　児童措置費	
事業	7　保育所緊急整備事業			事業費	42,977,000 円	

事業目的

令和9年4月から認定こども園の開園を目指し、国の就学前教育・保育整備交付金を活用し、保育施設を新築する事業者に費用の一部を補助することで、こどもを安心して育てることのできる環境の整備を促進する。

事業内容

待機児童の解消につなげるため、認定こども園を設置する事業者に対して、費用の一部（令和7年度分）を補助した。

【実績】
施 設 名：加古こども園
開 園 日：令和9年4月1日（予定）
事 業 者：社会福祉法人加古保育所
所 在 地：稲美町加古字千和池7930番、7931番、7933番1
構　　造：鉄骨造・平屋建
延床面積：1,121.05㎡
定　　員：140人
0歳児12人
1歳児20人
2歳児20人
3歳児23人　幼稚園部5人
4歳児25人　幼稚園部5人
5歳児25人　幼稚園部5人
補助金額：令和7年度：42,977,000円（10%）　令和8年度予算額：386,808,000円（90%）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	42,977,000	円	特定財源	国庫支出金	31,728,000	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		11,249,000	円
計	42,977,000	円	計		42,977,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	42,978,000	円	0	円	42,978,000	円
決算額	42,977,000	円	0	円	42,977,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	物価高対応子育て応援手当支給事業	担当課	こども課

科目						
款	3　民生費	項	2　児童福祉費	目	2　児童措置費	
事業	8　物価高対応子育て応援手当支給事業に要する職員給与費 9　物価高対応子育て応援手当支給事業			事業費	96,899,912 円	

事業目的	長期化する物価高騰の影響が様々な人々に及ぶ中、特に影響を強く受けている子育て世帯に物価高対応子育て応援手当を支給することで、こどもたちの健やかな成長を応援する。
事業内容	令和7年9月30日時点の児童手当の支給対象児童を養育する父母等及び令和7年10月1日から令和8年3月31日までに生まれた新生児を養育する父母等に児童1人当たり2万円を支給した。 【実績】 ・令和7年9月30日時点の児童手当受給者　2,522人（対象児童数：4,565人） ・令和7年10月以降に生まれた新生児の父母等　62人（対象児童数：62人） ・支給金額　：92,540,000円 当年度予算110,421,000円のうち、3,249,000円を令和8年度に明許繰越

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
職員給与費	1,091,549	円	特定財源	国庫支出金	96,712,000	円
報酬	304,764	円				円
需用費	461,973	円				円
役務費	521,626	円				円
委託料	1,980,000	円				円
負担金補助及び交付金	92,540,000	円	一般財源		187,912	円
計	96,899,912	円	計		96,899,912	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	107,172,000	円	0	円	107,172,000	円
決算額	96,899,912	円	0	円	96,899,912	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	町制施行70周年記念親子コンサート事業	担当課	こども課

科目						
款	3　民生費	項	2　児童福祉費	目	4　子育て交流施設費	
事業	2　子育て交流施設運営事業			事業費	2,208,864 円	

事業目的

町制施行70周年を記念して親子で楽しめる「ケロポンズファミリーコンサート」を開催する。就学前の親子などが一緒に歌って踊ってふれあうことで、保護者のこどもに対する愛着形成につなげるとともに、歌と踊りにより、こどものリズム感覚、運動機能の向上を図る。

事業内容

町制施行70周年記念親子コンサートを開催した。

【実績】

【開催日時】　令和8年1月18日（日）午前の部：開演　11：00～12：00
午後の部：開演　14：00～15：00

【開催場所】　いなみ文化の森　コスモホール

【内　　容】　ケロポンズファミリーコンサート

【入 場 料】　無料

【参加者数】　午前の部　442人　　午後の部　389人　　計831人

【委 託 先】　株式会社エムズプロデュース

【契約期間】　令和7年7月10日～令和8年3月31日

【契約金額】　1,848,000円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	101,200	円	特定財源			円
委託料	1,908,720	円				円
使用料及び賃借料	198,944	円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		2,208,864	円
計	2,208,864	円	計		2,208,864	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	2,686,000	円	0	円	2,686,000	円
決算額	2,208,864	円	0	円	2,208,864	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	いなみっこ広場一時預かり保育事業	担当課	こども課

科目						
款	3　民生費	項	2　児童福祉費	目	4　子育て交流施設費	
事業	2　子育て交流施設運営事業			事業費	3,469,506 円	

事業目的

育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減するため、いなみっこ広場において一時預かり保育を実施し、子育て中の保護者のリフレッシュと育児負担の軽減を図る。

事業内容

一時預かりの実施日に金曜日を加え、子育て中の保護者のリフレッシュと育児負担の軽減を図った。

対象児童	稲美町に住民登録がある満1歳から小学校就学前の児童
実施施設	いなみっこ広場
実施日	毎週火曜日、水曜日、木曜日、金曜日（祝日、年末年始は除く）
預かり時間	9：00～12：00
利用料金	1日当たり1,000円/人（3時間まで）
利用定員	1日あたり6人以内

【実績】

令和7年度一時預かり保育利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数	84	49	48	73	40	52	59	53	57	49	62	53	679

令和6年度一時預かり保育利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数	14	14	20	40	39	36	72	61	62	52	55	60	525

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	3,345,396	円	特定財源			円
旅費	124,110	円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		3,469,506	円
計	3,469,506	円	計		3,469,506	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	3,645,000	円	2,383,000	円	1,262,000	円
決算額	3,469,506	円	1,928,453	円	1,541,053	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	妊婦等包括支援事業	担当課	こども課

科目						
款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	1　保健衛生総務費	
事業	事業	1　保健衛生事業に要する職員給与費 8　妊婦等包括支援事業				23,744,108 円

事業目的	すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から妊産婦等に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うとともに、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実させる。また、妊婦支援給付金を支給し、妊婦等の身体的、精神的ケアに加え経済的支援を一体的に実施する。
事業内容	【実施内容】 ①伴走型相談支援 稲美町内の全ての妊婦・その配偶者等に対して保健師・助産師が、面談等を行い、必要な情報提供や相談に応じるともに、ニーズに応じて必要な支援につなげた。 ②経済的支援 妊婦支援給付金（1回目　5万円、2回目　5万円）を支給した。 【実績】 妊婦支援給付金（1回目） @50,000円×175人＝　8,750,000　円 妊婦支援給付金（2回目） @50,000円×163人＝　8,150,000　円 子育て応援ギフト（令和7年3月31日までに生まれた乳児については、 妊娠出産子育て支援交付金の子育て応援ギフトとして支給） @50,000円×23人＝　1,150,000　円　計　18,050,000　円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	494,758	円	特定財源	国庫支出金	20,497,000	円
職員給与費	3,032,049	円		県支出金	1,623,000	円
旅費	13,910	円				円
需用費	26,541	円				円
役務費	40,428	円				円
委託料	1,690,422	円				円
使用料及び賃借料	396,000	円				円
負担金補助及び交付金	18,050,000	円	一般財源		1,624,108	円
計	23,744,108	円	計		23,744,108	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	26,680,000	円	26,088,000	円	592,000	円
決算額	23,744,108	円	21,826,976	円	1,917,132	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	産後ケア事業	担当課	こども課

科目						
款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	1　保健衛生総務費	
事業	9　産後ケア事業			事業費	2,543,550 円	

事業目的

産後ケア事業を実施する助産所・医療機関等での宿泊・通所や訪問により、産後の身体的・精神的支援や沐浴・授乳等の育児支援を行い、育児不安の解消を図ることで母子の愛着形成の促進、産後うつや虐待予防を図る。

事業内容

令和7年度から兵庫県と一般社団法人兵庫県医師会及び兵庫県助産師会が代表して集合契約を締結した。稲美町もこの集合契約に参加し、県内のどの地域でも産後ケアを受けることができるようになった。

【実績】

令和7年度

	実人数	延べ日数	金額（円）
宿泊型	13	48	1,358,000
通所型	22	54	1,115,150
訪問型	4	6	66,000
計	39	108	2,539,150

令和6年度

	実人数	延べ日数	金額（円）
宿泊型	6	15	431,000
通所型	22	59	955,800
訪問型	2	5	45,000
計	30	79	1,431,800

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	4,400	円	特定財源	国庫支出金	1,271,000	円
委託料	2,539,150	円		県支出金	635,000	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		637,550	円
計	2,543,550	円	計		2,543,550	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	4,388,000	円	1,852,000	円	2,536,000	円
決算額	2,543,550	円	1,431,800	円	1,111,750	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	子どもの任意予防接種助成事業	担当課	こども課

科目						
款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	2　予防費	
事業	4　予防接種事業			事業費	306,000 円	

事業目的

任意予防接種に係る接種費用の一部を助成することにより、疾病のまん延防止を図るとともに、子育て家庭への経済的負担の軽減を図る。

事業内容

令和7年度から男子へのHPVワクチンに係る接種費用の一部を助成した。

① 種類　　4価ワクチン（ガーダシル）
② 対象者　　稲美町に住民登録がある小学校6年生から高校1年生相当年齢の男子
③ 助成額　　上限17,000円/回
④ 助成回数　　一人3回まで

【実績】

接種延べ人数　18人
実人数　8人
接種対象者数　733人

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	306,000	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		306,000	円
計	306,000	円	計		306,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	1,029,000	円	0	円	1,029,000	円
決算額	306,000	円	0	円	306,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	町制施行70周年記念地球温暖化防止講演会事業	担当課	生活環境課

科目						
款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	4　環境衛生費	
事業	3　カーボンニュートラル推進事業			事業費	554,046 円	

事業目的

町制施行70周年の節目に、世界共通の課題である地球温暖化に関する講演会を開催することにより、2050年二酸化炭素の実質排出量ゼロを目標にカーボンニュートラルの推進及び脱炭素社会の実現を図る。

事業内容

知名度があり知識が豊富な気象予報士が地球温暖化防止に関係する内容で最近の異常気象を中心とした講演を行うことで、一人でも多くの住民が脱炭素や省エネについて学び、日常生活において環境問題についての関心を高めるとともに行動変容を促していく。

【実績】【イベント名称】　町制施行70周年記念地球温暖化防止講演会
【開催日・場所】　令和7年9月6日（土）・コスモホール
【講　師】　気象予報士　正木　明氏
【講演テーマ】　「迫りくる気候危機！私たちがやるべきこと」
【参加人数】　390人
【講演内容】　天気予報の見方をはじめ、世界各地で起きている異常気象を紹介するとともに、地球温暖化防止のためCO2フリーの電力プランへ変更するなど、私たちができる生活の工夫について、わかりやすく講演していただき、参加者にカーボンニュートラルの推進及び脱炭素社会の実現についての啓発を行った。

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	328,000	円	特定財源			円
需用費	48,400	円				円
役務費	27,906	円				円
委託料	70,840	円				円
使用料及び賃借料	78,900	円				円
		円	一般財源		554,046	円
計	554,046	円	計		554,046	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	745,000	円	0	円	745,000	円
決算額	554,046	円	0	円	554,046	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	電気自動車等普及促進事業	担当課	生活環境課

科目						
款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	4　環境衛生費	
事業	3　カーボンニュートラル推進事業			事業費	850,000 円	

事業目的

電気自動車（EV車）及びプラグインハイブリッド自動車（PHEV車）の購入費用の一部を補助することにより、カーボンニュートラルの推進及び脱炭素社会の実現を図る。

事業内容

稲美町電気自動車等導入支援補助金交付要綱（令和6年稲美町要綱第3号）に基づき、電気自動車（EV車）及びプラグインハイブリッド自動車（PHEV車）の購入費用に対し、補助金を交付した。（令和6年度開始事業）

令和7年度からは、県の次世代自動車導入支援制度を活用し、法人や個人事業主に対しても補助金の交付を拡充した。

【実績】

・EV車（普通自動車）	100,000 円	×	3 台	＝	300,000 円
・EV車（軽自動車）	50,000 円	×	7 台	＝	350,000 円
・PHEV車	50,000 円	×	4 台	＝	200,000 円
				合計	850,000 円

（個人14台・法人等0台）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	850,000	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		850,000	円
計	850,000	円	計		850,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	1,750,000	円	2,000,000	円	△ 250,000	円
決算額	850,000	円	850,000	円	0	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	水道事業会計支出事業	担当課	水道課

科目						
款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	目	5　上水道費	
事業	1　水道事業会計支出事業			事業費	73,276,270 円	

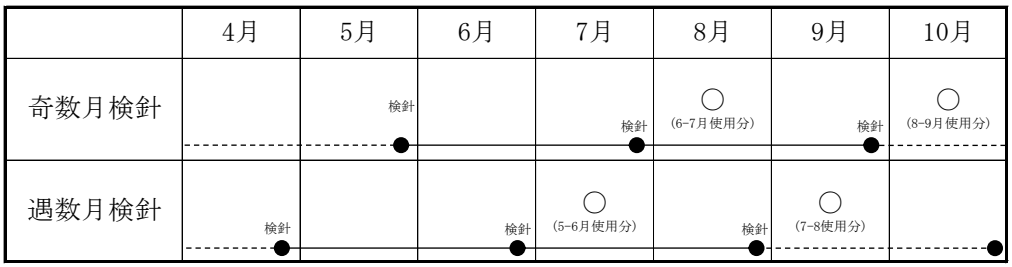
事業目的

エネルギーや食料品価格等の影響を受けている生活者や事業者に対し、必要な支援をきめ細やかに実施できるよう追加された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、水道料金の基本料金（4か月分）の免除を行う。

令和7年4月からの新料金体系適用後の基本料金（4か月分）の免除を行った。

実施期間　奇数月検針：8月及び10月請求分

偶数月検針：7月及び9月請求分



※ ○ ・・・ 基本料金免除対象 料金請求月

●──● ・・・ 免除対象水道使用期間

対象調定数

【奇数月検針】　13,194 件

【偶数月検針】　12,891 件　　合計　26,085 件

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	73,276,270	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		73,276,270	円
計	73,276,270	円	計		73,276,270	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	74,000,000	円	0	円	74,000,000	円
決算額	73,276,270	円	0	円	73,276,270	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	広域ごみ処理事業			担当課	生活環境課
科目	款	4　衛生費	項	2　清掃費	目	1　塵芥処理費
	事業	10 広域ごみ処理事業			事業費	24,440,636 円

事業目的

東播臨海広域クリーンセンター「エコクリーンピアはりま」において、資源の有効利用や再生可能エネルギーの活用等、環境負荷の低減を図るとともに、環境学習の提供など2市2町（高砂市、加古川市、稲美町、播磨町）が連携した広域ごみ処理事業を推進する。

加えて、エコクリーンピアはりまの可燃ごみ処理施設のごみ焼却時の熱回収によって発電した電力を2市2町で有効活用するための電力地産地消事業により、地域の脱炭素化をめざす。

事業内容

高砂市に建設された「エコクリーンピアはりま」は令和4年度から本格稼働している。

また、電力地産地消事業において、2市2町、地元金融機関2者、パートナー事業者の7者が出資する地域新電力会社（とうばんクリーンエナジー株式会社）を設立し、2市2町へ電力供給するための準備を進めている。

【実績】

（ごみ搬入量）

・令和7年度構成市町の可燃ごみ搬入量：93,010トン(稲美町：7,586トン)

・令和7年度構成市町の不燃・粗大ごみ搬入量：5,503トン(稲美町：564トン)

（事業費）

・計量システム端末の運用（通信運搬費）　88,728 円

・広域ごみ処理事業に係る負担金(稲美町分)

　事務費、運営費　6,603,468 円

　可燃ごみ処理施設管理費　5,902,010 円

　不燃粗大ごみ処理施設管理費　6,346,430 円

・地域新電力会社設立出資金　5,500,000 円

　令和8年1月22日　とうばんクリーンエナジー株式会社設立

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
役務費	88,728	円	特定財源			円
負担金補助及び交付金	18,851,908	円				円
投資及び出資金	5,500,000	円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		24,440,636	円
計	24,440,636	円	計		24,440,636	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	25,596,000	円	19,960,000	円	5,636,000	円
決算額	24,440,636	円	18,686,342	円	5,754,294	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	有機農業推進事業	担当課	産業課

科目						
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	3　農業振興費	
事業	8　有機農業推進事業			事業費	5,428,504 円	

事業目的	オーガニックビレッジ宣言に向けて、農業者のみならず事業者や消費者を含めた体制づくりを行い、生産から消費までの一貫した流通や販路拡大、消費者の理解醸成を図ることにより、稲美町及び稲美町産農産物のPRにつなげる。
事業内容	（事業内容） 令和7年12月に稲美町有機農業推進検討会が設立され、稲美町有機農業実施計画の策定に向けて協議した。令和8年1月に同計画が策定され、令和8年2月に「オーガニックビレッジ宣言」をした。 ・研究ほ場設置委託料 令和5・6年度で確立した栽培暦を活用して、無農薬・無化学肥料米の栽培面積拡大を図るため、3営農組合に約1haずつ合計約3haの研究ほ場を設置した。 （決算額） 2,512,000円 ・学校給食負担金 無農薬・無化学肥料米と一般流通米との差額（約8.3ｔ分）を補填した。 （決算額） 2,456,504円 ・有機農業推進事業補助金 稲美町有機農業推進検討会の運営に補助した。 （決算額） 460,000円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	2,512,000	円	特定財源	県支出金	4,637,532	円
負担金補助及び交付金	2,916,504	円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		790,972	円
計	5,428,504	円	計		5,428,504	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	9,382,000	円	0	円	9,382,000	円
決算額	5,428,504	円	0	円	5,428,504	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	多面的機能支払事業	担当課	産業課

科目						
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費	
事業	6　多面的機能支払事業			事業費	110,815,841 円	

事業目的	農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動等に対して交付金を支払うことにより農地、農業用施設の保全を図る。
事業内容	（事業内容） ・農地維持支払：草刈等共同活動 ・資源向上支払：施設の補修・更新、環境保全活動 （協議会数） ・農地維持支払・資源向上支払（共同活動）　28協議会 ・資源向上支払（長寿命化）　25協議会 （負担割合） ・国50%　県25%　町25%

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	1,019,853	円	特定財源	県支出金	83,114,180	円
旅費	5,180	円				円
需用費	14,923	円				円
使用料及び賃借料	171,600	円				円
負担金補助及び交付金	109,604,285	円				円
		円	一般財源		27,701,661	円
計	110,815,841	円	計		110,815,841	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	110,859,000	円	109,822,000	円	1,037,000	円
決算額	110,815,841	円	109,761,130	円	1,054,711	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	基幹水利施設整備事業	担当課	産業課

科目						
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費	
事業	7　基幹水利施設整備事業			事業費	4,562,315 円	

事業目的	天満大池土地改良区内の農業用用排水施設（揚水機場）と草谷川地区のパイプラインの更新を行い、農地への安定的な用水の供給を行うとともに、継続的な営農を推進する。
事業内容	○天満大池土地改良区 （工事内容） ・揚水機場更新工事　一式 （令和7年度実施工事等） ・用水管等補修及び設計 （負担割合） ・国50%　県29%　町14%　地元7% （決算額） 5,892,700円×21%＝1,237,467円 ○草谷川土地改良区 （工事内容） ・パイプライン更新工事　一式 （令和7年度実施工事） ・パイプライン更新工事（L＝540m） （負担割合） ・国50%　県31%　町13%　地元6% （決算額） 17,499,200円×19%＝3,324,848円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	4,562,315	円	特定財源	分担金及び負担金	1,462,441	円
		円		町債	2,700,000	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		399,874	円
計	4,562,315	円	計		4,562,315	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	4,563,000	円	13,668,000	円	△ 9,105,000	円
決算額	4,562,315	円	13,667,478	円	△ 9,105,163	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	水利施設等保全高度化事業	担当課	産業課

科目						
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費	
事業	8　水利施設等保全高度化事業 85　水利施設等保全高度化事業（明）			事業費	55,154,000 円	

事業目的

水管理の省力化や維持管理費の低減、農地集積等、農業経営の効率化と継続を図るため、農業用施設の整備に向けた機能保全計画及び事業計画を策定する。

事業内容

（事業内容）
・岡地区再整備　約119ha
　事業化に向けた整備計画を策定した。

整備計画策定委託料

（委託先）
　キタイ設計株式会社
（委託期間）
　（現）令和7年7月31日～令和8年3月31日
　（明）令和6年9月27日～令和7年9月30日
（決算額）
　（現）18,695,600円
　（明）26,577,100円

（委託先）
　株式会社朝日コンサル
（委託期間）
　（現）令和7年9月3日～令和8年3月31日
　（明）令和6年10月1日～令和7年9月30日
（決算額）
　（現）　7,901,300円
　（明）　1,980,000円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	55,154,000	円	特定財源	県支出金	52,144,400	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		3,009,600	円
計	55,154,000	円	計		55,154,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	55,158,000	円	70,000,000	円	△ 14,842,000	円
決算額	55,154,000	円	69,998,500	円	△ 14,844,500	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	農村地域防災減災事業	担当課	産業課

科目						
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費	
事業	9　農村地域防災減災事業 86　農村地域防災減災事業（明）			事業費	26,693,700 円	

事業目的
下流住民の生活や公共施設等の安全・安心を確保するため、耐震性能調査の結果、耐震性を有していないため池のうち、早急な耐震化整備が必要と判断されたものから耐震化対策整備を行うための計画を策定し、地域の安全を確保する。

事業内容
（事業内容） ・入ヶ池地区 耐震化に向け整備計画を策定した。 ため池等調査委託料 （委託先） キタイ設計株式会社 （委託期間） 令和7年8月7日～令和8年3月31日 （決算額） （現）　1,694,000円 （明）24,999,700円 （費用負担） 国100％

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	26,693,700	円	特定財源	県支出金	26,693,700	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		0	円
計	26,693,700	円	計		26,693,700	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	34,805,000	円	0	円	34,805,000	円
決算額	26,693,700	円	0	円	26,693,700	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業	担当課	産業課

科目						
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費	
事業	10 農業水路等長寿命化・防災減災事業			事業費	6,636,300 円	

事業目的

町道六分一西和田線を横断する排水路は、県営ほ場整備事業稲美南西部地区において昭和50（1975）、51（1976）年にかけて造成され、コルゲート鋼製管が使用されている。

供用開始から48年が経過しており、老朽化が著しいため、機能保全計画を策定し、総合的な予防保全対策を講じる。

事業内容

（事業内容）

・六分一・西和田地区

コルゲート鋼製管改修に向け機能診断・保全計画を策定した。

機能保全計画策定委託料

（委託先）

サンスイコンサルタント株式会社

（委託期間）

令和7年7月30日～令和8年3月31日

（決算額）

6,636,300円

（費用負担）

国100％

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	6,636,300	円	特定財源	県支出金	6,636,300	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		0	円
計	6,636,300	円	計		6,636,300	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	6,637,000	円	0	円	6,637,000	円
決算額	6,636,300	円	0	円	6,636,300	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	干ばつ応急対策支援事業	担当課	産業課

科目						
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費	
事業	11　干ばつ応急対策支援事業			事業費	1,389,000 円	

事業目的	令和7年6月27日から7月31月までの記録的な高温・少雨により、農業用水の不足や農作物への影響があり、水稲など農作物の安定供給及び価格安定に大きな支障が生じるため、水利団体等の負担軽減対策を行う。
実績・効果	（補助対象経費） ・揚水機の運転経費（人件費・燃料費・電力費）、配水管理人件費等 （補助対象団体数） ・6団体 （補助率） ・県50%　町50%

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	1,389,000	円	特定財源	県支出金	694,000	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		695,000	円
計	1,389,000	円	計		1,389,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	1,389,000	円	0	円	1,389,000	円
決算額	1,389,000	円	0	円	1,389,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	水利施設管理強化事業	担当課	産業課

科目						
款	6　農林水産業費	項	1　農業費	目	8　土地改良費	
事業	12　水利施設管理強化事業			事業費	5,137,000 円	

事業目的	令和7年8月1日以降の記録的な高温・少雨により、農業用水の不足や農作物への影響があり、水稲など農作物の安定供給及び価格安定に大きな支障が生じるため、水利団体等が実施した高温対策に対して支援を行う。
実績・効果	（補助対象経費） ・揚水機の運転経費（人件費・燃料費・電力費）、配水管理人件費等 （補助対象団体数） ・11団体 （補助率） ・国50%　県25%　町25%

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	5,137,000	円	特定財源	県支出金	3,852,750	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		1,284,250	円
計	5,137,000	円	計		5,137,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	5,186,000	円	0	円	5,186,000	円
決算額	5,137,000	円	0	円	5,137,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	商工業振興補助事業	担当課	産業課

科目						
款	7　商工費	項	1　商工費	目	1　商工費	
事業	3　商工業振興補助事業			事業費	17,406,770 円	

事業目的	稲美町商工会に補助を行うことにより、町内の商工業の振興対策を図る。
事業内容	（主な事業内容） ・経営改善普及事業指導職員設置費 ・経営改善普及事業指導事業費 ・総合振興事業費 　労働者雇用管理改善事業 　観光と物産事業 　いなみ冬景色事業 　健康維持推進事業 　共通商品券事業 　年賀交歓会受託事業 　婚活事業 　エキスパートバンク事業 　創業支援事業

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	17,406,770	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		17,406,770	円
計	17,406,770	円	計		17,406,770	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	19,997,000	円	17,350,000	円	2,647,000	円
決算額	17,406,770	円	16,661,246	円	745,524	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	町制施行70周年記念花火大会実施事業	担当課	産業課

科目						
款	7　商工費	項	1　商工費	目	1　商工費	
事業	4　観光振興事業			事業費	11,564,154 円	

事業目的

町制施行70周年を記念して花火大会を実施し、夜空を華麗に彩る花火を打ち上げることで、活力あるまちづくりをめざす。

事業内容

稲美町花火大会実行委員会に委託し、記念式典の夜に500発/1か所の花火を合計3か所から打ち上げた。

（形態）
分散型（町内3か所：加古大池周辺・稲美中学校周辺・天満大池周辺）
※来場不可
（日時）
令和7年11月1日（土）19：00～（15分程度）
（主催）
稲美町花火大会実行委員会

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	11,564,154	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		11,564,154	円
計	11,564,154	円	計		11,564,154	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	12,000,000	円	0	円	12,000,000	円
決算額	11,564,154	円	0	円	11,564,154	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	にぎわい創出補助事業	担当課	産業課

科目						
款	7　商工費	項	1　商工費	目	1　商工費	
事業	4　観光振興事業			事業費	2,999,000 円	

事業目的

イベント等を主催する団体に補助金を交付することで、地域の活性化や町のにぎわいを創出するイベント等の開催を促すとともに、地域資源を活用した安全・安心なイベントの定着を図る。

事業内容

安全・安心なイベントの定着を図ることを目的に15件・14団体に補助金を交付した。

補助内容
【対象者】
企画した事業の完了まで責任を持って遂行できる住民団体等

【補助対象経費】
町内で開催するイベントの実施に必要な経費

【補助率、上限額】
・補助率10/10
・イベントの開催　上限20万円（1団体2回までで2事業同時の交付申請不可）

No.	団体名	日時
1	SINSYA	令和7年6月8日(日)　13：00～
2	にじいろミュージックフェスティバル実行委員会	令和7年5月18日(日)　9：30～
3	ロハスミーツ実行委員会	令和7年10月11日～13日(土、日、月・祝)　10：00～17：00
4	特定非営利活動法人ゆるり家	令和7年10月4日(土)・5日(日)　10：00～16：30
5	加古大池イベント実行委員会	令和７年8月10日(日)～令和7年8月11日(月・祝)　10：00～15：00
6	ラテンアメリカ音楽交流推進会	令和7年9月30日(火)　18：00～20：00
7	夏祭り実行委員会	令和7年8月24日(日)　15:00～18：30
8	いなみのマルシェをつくる会	令和7年11月23日(日)　13：00～17：00
9	MUSICZOO	令和7年8月30日(土)　①10:30～11:45　②13:30～14:45
10	見谷コスモスまつり実行委員会	令和7年10月18日(土)、19日(日)　9:30～16:00
11	NPO法人グーチョキパー	令和7年9月21日(日)　16:00～20:00
12	一般社団法人KANOSOKU JAPAN	令和7年12月20日(土)　10:00～14:00
13	麗萌書道イベント会	令和7年12月31日(水)　23:00～令和8年1月1日（木）　年末年始
14	NPO法人グーチョキパー	令和7年12月21日(日)　16:00～
15	もちつき大会実行委員会	令和7年12月13日(土)　9:00～14：00

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	2,999,000	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		2,999,000	円
計	2,999,000	円	計		2,999,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	3,000,000	円	3,000,000	円	0	円
決算額	2,999,000	円	2,998,000	円	1,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	稲美町プレミアム付商品券事業	担当課	産業課

科目						
	款	7　商工費	項	1　商工費	目	1　商工費
	事業	5　稲美町商品券事業			事業費	145,871,000 円

事業目的	稲美町プレミアム付商品券を販売することで、購買力の町外流出防止及び個人消費を促進し、町内の商業の活性化を図る。
事業内容	（事業内容） ・プレミアム付商品券 販売枚数：13,316セット （1セット10,000円［500円券22枚］） 換金率　：99.59％ プレミアム率：10％ 販売期間：令和7年7月15日～19日 有効期限：令和7年12月31日

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	145,871,000	円	特定財源	財産収入	133,160,000	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		12,711,000	円
計	145,871,000	円	計		145,871,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	165,000,000	円	165,000,000	円	0	円
決算額	145,871,000	円	148,836,000	円	△ 2,965,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	町道維持補修事業	担当課	土木課

科目						
	款	8　土木費	項	2　道路橋梁費	目	2　道路維持費
	事業	2　町道維持補修事業			事業費	97,425,900 円

事業目的

安全で快適な通行の確保及び騒音軽減等による住環境の改善のため、舗装の亀裂、ひび割れ、沈下が著しいなど、車両交通に支障をきたしている町道について計画的に舗装打換工事等を行う。

令和7年度舗装打換等実施路線

①町道川北口南場線　　施工延長　365m　　幅員　6.0m

施工業者：出口設備有限会社

工　　期：令和7年10月9日～令和8年3月31日

契約金額：30,410,600円

②町道至子（たかぼり）線　　施工延長　488m　　幅員　6.0m

施工業者：赤松機器工業株式会社

工　　期：令和7年9月10日～令和8年2月28日

契約金額：46,371,600円

③町道597号線　　施工延長　91m　　擁壁工

施工業者：ミナト建設工業株式会社

工　　期：令和7年10月1日～令和8年3月31日

契約金額：20,643,700円

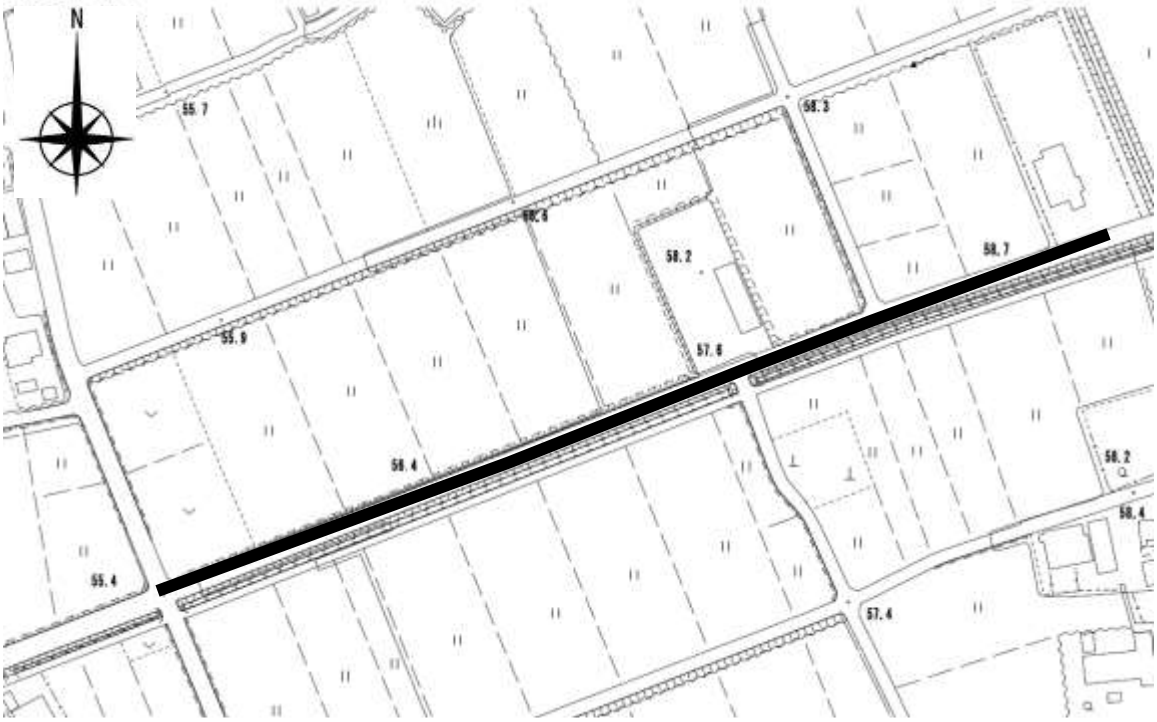
※図面は次頁に掲載

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
工事請負費	97,425,900	円	特定財源	国庫支出金	26,040,000	円
		円		町債	23,400,000	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		47,985,900	円
計	97,425,900	円	計		97,425,900	円

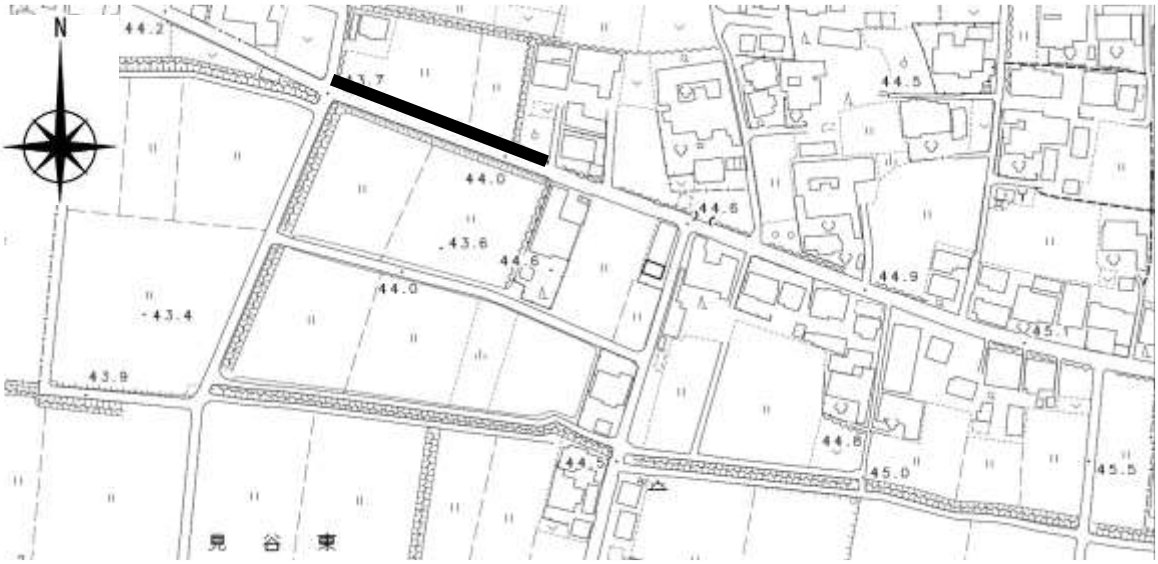
	当年度		前年度		増減	
予算現額	122,584,000	円	82,676,000	円	39,908,000	円
決算額	97,425,900	円	74,402,900	円	23,023,000	円

①町道川北口南場線　　施工延長　365m　　幅員　6.0m



②町道至子(たかぼり)線　　施工延長　488m　　幅員　6.0m

③町道597号線　　施工延長　91m　　擁壁工



令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	町道草谷学校線歩道整備事業	担当課	土木課

科目						
款	8　土木費	項	2　道路橋梁費	目	3　道路新設改良費	
事業	2　町道草谷学校線歩道整備事業 85　町道草谷学校線歩道整備事業（明）			事業費	30,313,200 円	

事業目的

母里小学校区の通学路である町道草谷学校線は、交通量が多く、一部区間において路肩部分も狭いため、歩道整備を行い、児童をはじめとする歩行者の安全を確保する。

●町道草谷学校線歩道整備事業

町道草谷学校線歩道整備工事（Ⅲ期）　　施工延長　393m　　幅員　2.0m

施工業者：中嶋工業株式会社

工　　期：令和7年9月3日～令和8年5月31日

契約金額：28,884,900円　（うち令和7年度　13,000,000円）

※　当年度予算32,773,000円のうち、19,773,000円を令和8年度に繰越

●町道草谷学校線歩道整備事業（明）

町道草谷学校線歩道整備工事（Ⅱ期）等　　施工延長　228m　　幅員　2.0m

施工業者：ミナト建設工業株式会社

工　　期：令和6年10月1日～令和7年5月31日

契約金額：47,313,200円　（うち令和6年度明許繰越　17,313,200円）

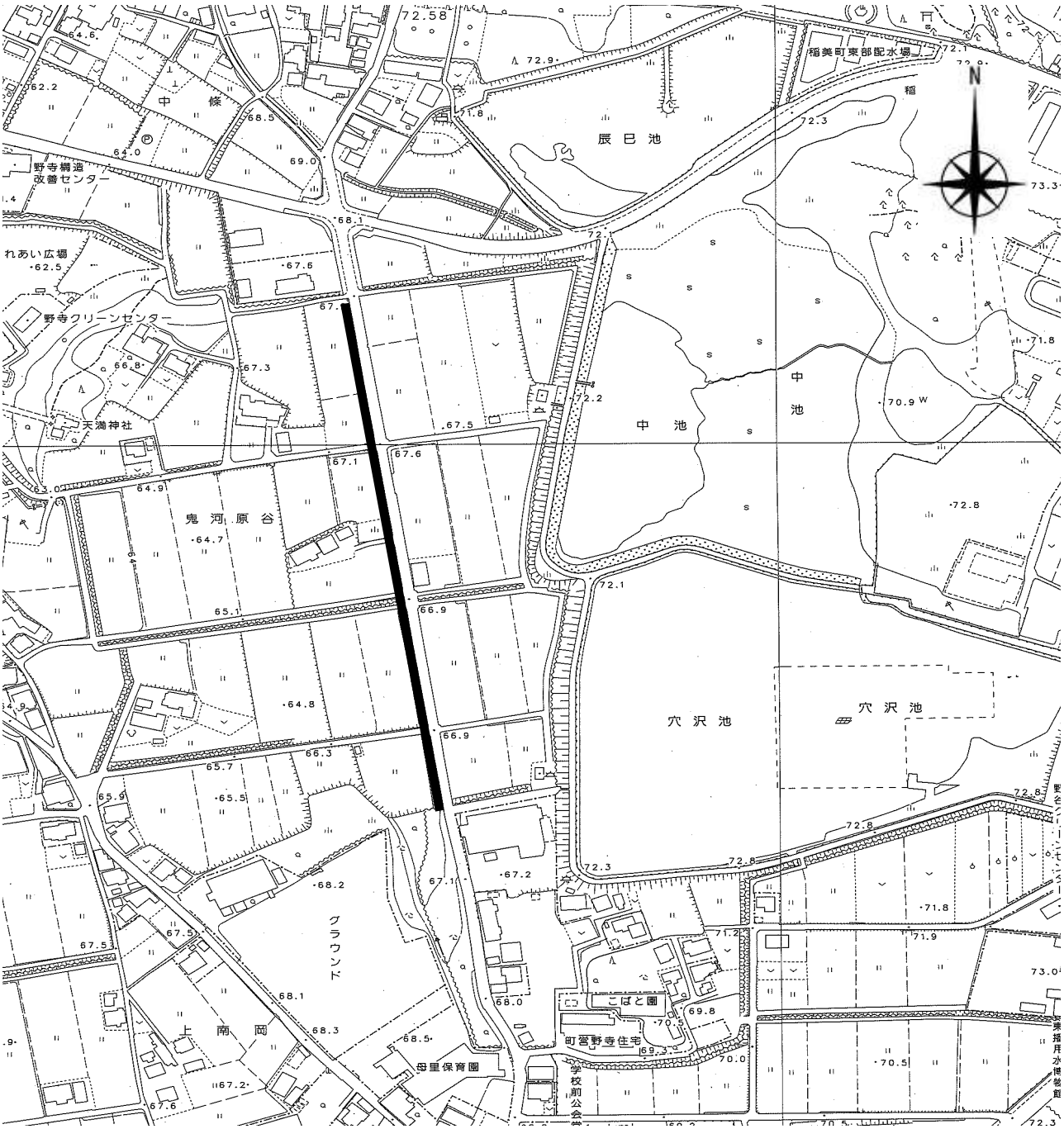
※図面は次頁に掲載

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
工事請負費	30,313,200	円	特定財源	国庫支出金	15,400,000	円
		円		町債	11,200,000	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		3,713,200	円
計	30,313,200	円	計		30,313,200	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	30,314,000	円	30,000,000	円	314,000	円
決算額	30,313,200	円	30,000,000	円	313,200	円

町道草谷学校線歩道整備工事　施工延長　393m　　幅員　2.0m



令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	親元近居住宅取得等支援補助事業	担当課	都市計画課

科目						
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	1　都市計画総務費	
事業	2　都市計画行政運営事業			事業費	8,820,000 円	

事業目的	
	町内の定住人口の増加を図るとともに、親子間の子育て支援や介護などの支え合いを促進するため、町内出身者などの子世帯が親元に住宅を新築等する場合に補助を行う。

事業内容	
	（補助金名称）　稲美町移住定住支援補助金（親元近居住宅取得等支援補助金）
	（補助金額）　18万円分の稲美町共通商品券
	（対象住宅）　・取得した住宅（中古住宅を含む。）は子世帯の所有権が2分の1以上あること
	・玄関・居室・台所・風呂・トイレのうち2つ以上を含む増築・一部改築工事またはリフォーム工事を実施した住宅でその工事費が300万円以上のもの
	（対 象 者）　（親世帯）申請者の親等（直系尊属）が町内に5年以上居住している場合
	（子世帯）子世帯全員が稲美町に居住している場合（住民票が町内にあること）
	【実績】
	補助件数　49 件　（うち、転入　26件）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	8,820,000	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		8,820,000	円
計	8,820,000	円	計		8,820,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	12,600,000	円	12,600,000	円	0	円
決算額	8,820,000	円	8,280,000	円	540,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	沿道活性化にぎわいづくり補助事業	担当課	都市計画課

科目					
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	1　都市計画総務費
事業	2　都市計画行政運営事業 85　都市計画行政運営事業（明）			事業費	4,200,000 円

事業目的	
	地区計画を決定し、建築規制を緩和した旧母里村役場跡周辺地区及び旧加古村役場跡周辺地区内における建築行為や開発行為に対し補助を行うことで,地域の活性化をめざす。

事業内容

●住宅・店舗等の建築を促進するための新たな建築行為に対する補助

（補助金名称）　沿道活性化にぎわいづくり補助金

（対象期間）　10年間（令和12年9月17日まで）

（補助金額）　住　宅：18万円分の稲美町共通商品券

店舗等：固定資産税（土地・建物・償却資産）相当額の2分の1を3年間

【実績】

補助件数（住宅建築）　10 件　（うち、転入9件）

●民間開発事業を誘導するための開発行為に対する補助（令和6年度明許繰越分）

（補助金名称）　沿道活性化にぎわいづくり開発補助金

（対象事業）　都市計画法第29条に基づく開発で、町が認定する開発行為

（補助金額）　開発区域内に造成される宅地数に1宅地当り30万円を乗じた額

【実績】

補助件数（住宅造成）　1 件

造成宅地数：　8 宅地

地　区　名：　旧母里村役場跡周辺地区内

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	4,200,000	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		4,200,000	円
計	4,200,000	円	計		4,200,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	9,600,000	円	12,000,000	円	△ 2,400,000	円
決算額	4,200,000	円	5,880,000	円	△ 1,680,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	土地利用計画策定事業（市街化調整区域）	担当課	都市計画課

科目						
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	1　都市計画総務費	
事業	7　田園集落まちづくり事業			事業費	7,792,400 円	

事業目的

現在の稲美町土地利用計画は、平成15（2003）年3月に策定後、23年が経過し、地域における土地利用の課題が変化していることから見直しを行う。

人口減少や地域課題に対応するため、計画の見直しに合わせて、市街化調整区域に田園集落まちづくりの指定を行うことで、地縁者等の定住による人口流出の抑制や空き家・空き地などの有効活用を促進する。

事業内容

【事業内容】

市街化調整区域の土地利用計画の見直しを行い、各自治会の区域指定の意向に基づく特別指定区域の指定をめざす。

事業期間は令和6年度から令和8年度の3年間

（令和7年度事業）

策定委員会の開催、土地利用計画（案）の策定、関係機関等との協議、住民説明会・自治会ヒアリング、審議会等への事前協議及び意見聴取　等

【対象自治会】

市街化調整区域が関係する49自治会

【実績】

・土地利用計画（案）の作成

・パブリックコメント資料作成

・稲美町土地利用調整基本計画策定委員会

（第2回8月28日、第3回12月1日、第4回2月24日　計3回開催）

契約者　　株式会社　八州　姫路営業所

履行期間　　令和6年5月29日～令和9年3月31日

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	7,792,400	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		7,792,400	円
計	7,792,400	円	計		7,792,400	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	7,793,000	円	5,089,000	円	2,704,000	円
決算額	7,792,400	円	5,085,300	円	2,707,100	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	田園集落まちづくり住宅新築促進事業	担当課	都市計画課

科目						
	款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	1　都市計画総務費
	事業	7　田園集落まちづくり事業			事業費	0 円

事業目的	
	特別指定区域内の地縁者住宅区域及び新規居住者住宅区域での住宅新築行為に対して補助を行う。

事業内容	
	（補助金名称）　田園集落まちづくり住宅新築促進事業補助金
	（対象期間）　区域指定後5年間
	（補助金額）　18万円分の稲美町共通商品券
	（対象地区）　北山地区（令和9年4月11日まで）、金守地区（令和6年4月12日から）
	【実績】
	補助件数　0 件　（うち、転入　0件）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
負担金補助及び交付金	0	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		0	円
計	0	円	計		0	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	900,000	円	900,000	円	0	円
決算額	0	円	180,000	円	△ 180,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	稲美北東部地区整備計画等策定事業	担当課	都市計画課

科目						
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	1　都市計画総務費	
事業	86　都市計画変更業務委託事業（明）			事業費	17,394,300 円	

事業目的

新たな工業用地の確保と既存工場の活力維持により雇用機会の創出を図るため、令和元年度に策定した「稲美北東部地区土地利用構想」に基づき、地権者や地元住民と協議を行いつつ、土地利用基本計画策定に向けた調整・調査・検討等を行う。

事業内容

地区の課題を抽出し、今後の整備に向けた土地利用基本計画の策定に向けた検討を実施。

（令和6年度明許繰越分）

・関係機関協議・都市施設配置計画（案）の作成・検討

・下流水路・河川流下能力調査・検討　・調整池概略検討　　等

契約者　　日本工営都市空間　株式会社　神戸事務所

契約期間　　令和6年5月31日～令和7年6月30日

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	17,394,300	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		17,394,300	円
計	17,394,300	円	計		17,394,300	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	21,780,000	円	0	円	21,780,000	円
決算額	17,394,300	円	0	円	17,394,300	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	菊徳地区土地区画整理事業	担当課	都市計画課

科目						
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	3　土地区画整理事業費	
事業	2　土地区画整理事業一般管理事業			事業費	16,004,220 円	

事業目的

菊徳地区内で残存農地が集積している区域において土地区画整理事業を行い、公共施設の整備及び宅地利用の増進を図り、快適で安全な市街地の形成をめざすため、菊徳土地区画整理組合に対し事業費の補助を行う。

事業内容

（支援内容）　　事務費等の補助及び技術的支援　など

【実績】

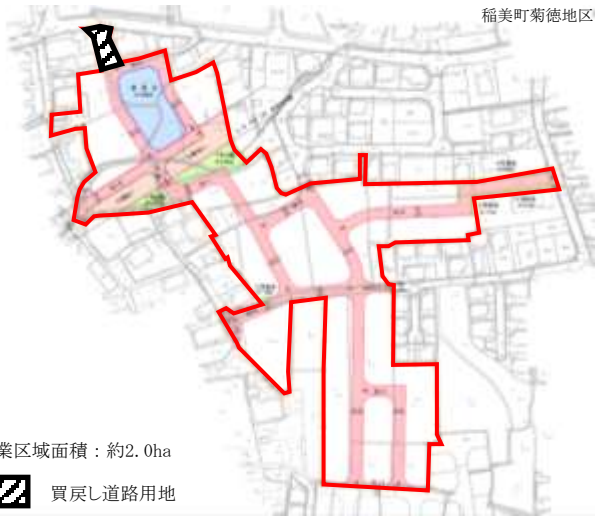
・区画道路等工事執行等に関する技術的支援

・事業費等の補助金の交付

・基金で先行買収した道路用地の買戻し

（組合事業状況）　　区画道路等工事完了

（事業区域図）



決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
公有財産購入費	9,419,520	円	特定財源			円
負担金補助及び交付金	6,584,700	円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		16,004,220	円
計	16,004,220	円	計		16,004,220	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	16,005,000	円	19,541,000	円	△ 3,536,000	円
決算額	16,004,220	円	18,095,000	円	△ 2,090,780	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	いなみアクアプラザ大規模改修（実施設計）事業	担当課	都市計画課

科目						
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	6　公園管理費	
事業	2　健康づくり施設管理運営事業			事業費	14,132,800 円	

事業目的

健康づくり施設「いなみアクアプラザ」は平成18（2006）年10月に開設し、約20年が経年し老朽化が進んでいる。施設の長寿命化と適正な施設管理を継続するため、大規模改修により機能回復と改善を図る。

事業内容

健康づくり施設は、平成18（2006）年度に開設、平成29（2017）年度に一部改修工事をしてから概ね10年を迎えようとしている。令和6年度の長寿命化計画の見直しに合わせ、施設と設備の点検を実施し機能回復・改善項目を確認した。令和7年度は、この点検結果を基に大規模改修工事の実施設計をした。

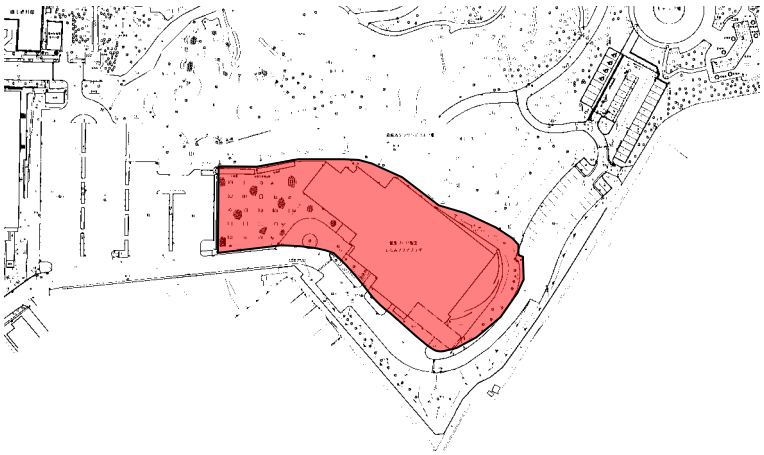
（内容）　健康づくり施設いなみアクアプラザ大規模改修事業

・令和7年度　実施設計（建築・電気設備・機械設備　等）

・令和8年度～令和10年度　大規模改修工事

契約者　株式会社　鷲尾建築設計事務所

履行期間　令和7年9月2日～令和8年3月31日



決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	14,132,800	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		14,132,800	円
計	14,132,800	円	計		14,132,800	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	14,652,000	円	0	円	14,652,000	円
決算額	14,132,800	円	0	円	14,132,800	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	稲美中央公園全体構想策定事業	担当課	都市計画課

科目						
款	8　土木費	項	4　都市計画費	目	6　公園管理費	
事業	85　公園維持管理事業（明）			事業費	10,393,900 円	

事業目的

稲美中央公園は供用開始後40年以上経過していることから利用者のニーズも変化してきている。ニーズに応じた新たな施設の設置や既存施設の更新を検討し、全体構想・基本計画の策定を行う。

事業内容

稲美中央公園の利用者ニーズの確認と、公園施設に対する課題の抽出、ニーズに応じた新たな施設の配置を敷地分析等により整理するとともに、既存施設等の更新等も検討し、全体構想・基本計画を策定した。

（令和6年度明許繰越分）
（内容）

・現況把握
・敷地分析
・計画内容の検討及び設定
・基本計画図の作成
・内部検討委員会の開催
・アンケート等の実施等を基に、全体構想・基本計画の策定

契約者
株式会社　オオバ　神戸営業所

履行期間
令和6年7月2日～令和8年2月28日

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	10,393,900	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		10,393,900	円
計	10,393,900	円	計		10,393,900	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	11,069,000	円	0	円	11,069,000	円
決算額	10,393,900	円	0	円	10,393,900	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	消防団員処遇改善事業	担当課	危機管理課

科目						
款	9　消防費	項	1　消防費	目	2　非常備消防費	
事業	1　消防団活動事業			事業費	15,809,600 円	

事業目的

消防団は地域防災力の中核として重要な役割を果たしている。近年、全国各地で災害が多発化・激甚化する一方で、全国の消防団員数は、著しく減少しており、当町でも団員数が定数に達していない状況にある。このままでは、地域防災力の低下が懸念されることから、消防庁において「消防団員の処遇改善等に関する検討会」が開催され、出動報酬の創設や、年額報酬及び出動報酬の基準が策定された。

当町においては、令和5年度に「稲美町消防団活動検討委員会」を開催しその方策について検討を行った。これらを踏まえ、当町における消防団員の処遇改善を図り、消防団を充実強化し地域防災力の向上を図る。

事業内容

消防団員669人に年額報酬を支給した。また、災害（火災など）や研修その他活動に出動した団員に出動報酬を支給した。

【実績】

（年額報酬）

団長	157,300円×	1人	157,300円
副団長	117,000円×	4人	468,000円
分団長	61,100円×	6人	366,600円
副分団長	52,300円×	6人	313,800円
部長	37,800円×	43人	1,625,400円
班長、団員	16,500円×	609人	10,048,500円
		669人	12,979,600円

（出動報酬）　【新設】

災害、警戒に係る出動	153人	852,000円
研修、その他活動に係る出動	1,978人	1,978,000円
		2,830,000円

（定数）

769人⇒694人

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	15,809,600	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		15,809,600	円
計	15,809,600	円	計		15,809,600	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	16,255,000	円	14,731,000	円	1,524,000	円
決算額	15,809,600	円	13,377,100	円	2,432,500	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	ＩＣＴ利活用学校支援事業	担当課	教育課

科目						
款	10　教育費	項	1　教育総務費	目	3　教育指導費	
事業	4　ＩＣＴ利活用学校支援事業			事業費	270,933,837 円	

事業目的	「GIGAスクール構想」を踏まえ、町立学校に通う全児童生徒にタブレット端末を貸与し、多様な子どもたち一人ひとりの能力や適性等に応じた学びや創造性を育むため、ICTを活用した学習活動の充実を図る。
事業内容	【GIGAスクール事業】 令和7年度　教育用タブレット端末　更新（GIGA第2期） 契約業者：阪神ケーブルエンジニアリング株式会社 納入期限：令和8年3月31日 契約金額：188,210,000円 購入台数：2,700台 【校務用、学習用端末、校務DX】 令和7年度　校務用・学習用端末、校務支援システム　更新 契約業者：株式会社システムリサーチ 契約期間：令和7年10月1日～令和12年9月30日 契約金額：245,784,000円（うち、令和7年度：24,578,400円）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	108,240	円	特定財源	国庫支出金	466,000	円
役務費	19,889,397	円		県支出金	99,064,900	円
委託料	13,024,660	円				円
使用料及び賃借料	48,907,340	円				円
備品購入費	189,004,200	円				円
		円	一般財源		171,402,937	円
計	270,933,837	円	計		270,933,837	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	273,675,000	円	85,129,000	円	188,546,000	円
決算額	270,933,837	円	82,444,011	円	188,489,826	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	幼・小・中一貫した国際理解教育推進事業	担当課	教育課

科目						
款	10　教育費	項	1　教育総務費	目	3　教育指導費	
事業	6　魅力あるいなみの教育事業			事業費	28,129,950 円	

事業目的

幼稚園・小学校・中学校を通じた英語教育全体の充実を図るため、ALT等の外部人材を活用し、グローバル化に対応した教育環境づくりを推進するとともに、中学3年生を対象に英語外部検定試験を実施し、生徒の学習意欲の向上を図る。

事業内容

○外国語科・外国語活動（英語）授業へのALT配置
　契約業者：株式会社インタラック関西東海　大阪支店
　契約期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日
　契約金額：26,437,400円
　事業内容：【ALT配置5名　40.0時間／週】
　　・外国語科・外国語活動（英語）授業へのALT配置
　　・外国語科・外国語活動（英語）授業以外での学校生活において外国語に触れる機会が増加
○幼稚園・小中学校教員の英語指導力向上研修の実施
○グローバル意識UP事業の実施
　令和7年度　　海外の現状やシステム、課題等についての研修を実施
○英語外部検定試験
　契約業者：株式会社ベネッセコーポレーション
　契約期間：令和7年7月1日～令和8年3月31日
　契約金額：1,366,200円
　試験内容：スコア型英語技能検定（GTEC）
　　中学3年生を対象に「読む・書く・聞く・話す」の4技能試験の実施

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	240,000	円	特定財源			円
需用費	86,350	円				円
委託料	27,803,600	円				円
		円				円
		円	一般財源		28,129,950	円
計	28,129,950	円	計		28,129,950	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	28,326,000	円	27,405,000	円	921,000	円
決算額	28,129,950	円	27,201,065	円	928,885	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	稲美町いじめ防止対策推進条例策定事業	担当課	教　育　課 人権教育課

科目						
款	10　教育費	項	1　教育総務費	目	3　教育指導費	
事業	7　生きる力を育むための小・中連携推進事業			事業費	230,020 円	

事業目的

いじめが児童生徒の生命並びに心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を及ぼすものであることを踏まえ、全ての児童生徒が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう基本理念を定め、町、町教育委員会及び保護者の責務や役割を明らかにするとともに、総合的かつ効果的にいじめの防止等のための対策を推進する。

事業内容

いじめの防止および早期発見・早期対応に向けた実効性のある「稲美町いじめ防止対策推進条例」を策定するために、多様な立場の委員で委員会を構成し、多角的な観点からいじめの防止や対応に関する条例の策定に向けた協議を行った。

○ 稲美町いじめ防止対策推進条例策定検討委員会を年3回開催
（開催日）
第1回：令和7年6月9日
（議題）(1) いじめ防止条例策定の経緯と稲美町の実態等について
(2) 稲美町いじめ防止対策推進条例の原案について
(3) 今後の進め方について
第2回：令和7年10月6日
（議題）(1) 前回からの修正内容について
(2) 事務局からの提案内容について
(3) 小中学校へのアンケート及び中学校生徒会との座談会について
(4) 今後の進め方について
第3回：令和8年1月5日
（議題）(1) 前回からの修正内容について
(2) 事務局からの提案内容について
(3) パブリックコメントについて
(4) 今後の進め方について

○ 小中学校へのアンケート及び中学校生徒会との座談会を実施
「稲美町いじめ防止対策推進条例」の策定にあたり、当事者である児童生徒の意見を反映させることを目的として実施
（アンケート）実施時期：令和7年6月30日～令和7年7月11日
（座　談　会）実 施 日：令和7年8月 5日

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	44,700	円	特定財源			円
旅費	44,520	円				円
需用費	140,800	円				円
		円	一般財源		230,020	円
計	230,020	円	計		230,020	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	765,000	円	0	円	765,000	円
決算額	230,020	円	0	円	230,020	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	不登校児童生徒支援事業	担当課	人権教育課

科目						
款	10　教育費	項	1　教育総務費	目	3　教育指導費	
事業	9　心の教育充実事業			事業費	5,478,852 円	

事業目的

ふれあい教室では、児童生徒に心を落ち着けて自己と向き合う時間を作ることで、自立心や社会性等を育てており、教室の機能強化のために、公認心理師を配置し、心理的な側面から悩みや不安を抱えた児童生徒に対しての相談を行うとともに、保護者に対する助言・援助を行う。また、町内の不登校児童生徒が学校以外の場において行う社会的自立に向けた多様で適切な学習活動を支援するため、不登校児童生徒の保護者等に対して民間不登校児童生徒支援施設の利用に要する経費について支援する。

事業内容

○ふれあい教室（教育支援センター）における支援　ふれあい教室利用者人数　延べ2,066人

安心して生活できる「居場所」づくり

家庭から外に出ることや対人関係での不安を取り除き、無理なく通級できる支援を充実させた。

公認心理師による相談業務　　相談件数：126件

ふれあい教室に公認心理師1名を配置して、児童・生徒や保護者に対するカウンセリング等を行った。

○校内サポートルーム支援　　配置支援員数：5人

教室に入りづらい児童生徒のために校内サポートルーム支援員の配置を拡充した。
サポートルーム内で多様な学びが実現できるような設備を充実させた。

○民間不登校児童生徒支援施設利用補助金　　支援児童数：10人

不登校児童生徒の保護者に対し、民間不登校児童生徒支援施設の利用にかかる経費(授業料)を支援した。

補助金額　児童生徒1人につき上限月額15,000円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	3,355,200	円	特定財源	県支出金	1,210,000	円
報償費	83,600	円		寄附金	200,000	円
旅費	76,600	円				円
需用費	29,964	円				円
備品購入費	253,488	円				円
負担金補助及び交付金	1,680,000	円	一般財源		4,068,852	円
計	5,478,852	円	計		5,478,852	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	5,693,000	円	5,758,000	円	△ 65,000	円
決算額	5,478,852	円	5,718,721	円	△ 239,869	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	デジタル教科書推進事業	担当課	教育課

科目	款	10　教育費	項	2　小学校費	目	1　学校管理費
	事業	1　小学校運営事業			事業費	1,043,972 円
科目	款	10　教育費	項	3　中学校費	目	1　学校管理費
	事業	1　中学校運営事業			事業費	4,988,055 円

事業目的

学習指導要領や中央教育審議会答申において、資質・能力の育成に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められている。また、ICTを適切に活用した学習活動は、学習指導要領がめざす「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に資するものであり、各教科等においても求められている資質能力の育成のためには不可欠である。

デジタル教科書等のデジタルコンテンツを最大限に活用しながら、全校児童生徒の資質・能力の育成へと繋げるとともに、学習活動の充実を図る。

事業内容

国では、全ての小中学校等を対象に、小学校5年生から中学校3年生に対して英語のデジタル教科書を提供し、算数・数学については、学校現場の環境整備や活用状況等を踏まえながら段階的に提供している。

当町では、小学校5年生、6年生の算数、中学校1年生から3年生の数学の学習者用デジタル教科書について、一部町費により提供した。

(町負担分)
学習者用ﾃﾞｼﾞﾀﾙ教科書
小学校：201,740円
(262冊)
中学校：144,870円
(439冊)

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	6,032,027	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		6,032,027	円
計	6,032,027	円	計		6,032,027	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	6,272,000	円	13,102,000	円	△ 6,830,000	円
決算額	6,032,027	円	13,070,064	円	△ 7,038,037	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	天満小学校長寿命化改修事業	担当課	教育課

科目						
款	10　教育費	項	2　小学校費	目	1　学校管理費	
事業	3　小学校施設維持管理事業			事業費	12,232,170 円	

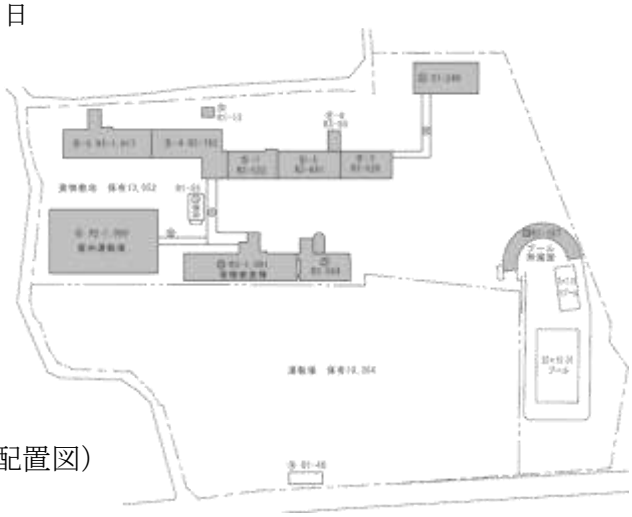
事業目的

天満小学校は建築後45年が経過し、老朽化が進んでいる。長寿命化改修工事を行うことにより、施設の環境改善に取り組み、児童の安全性を確保し安心感のある施設環境を形成する。

事業内容

学校施設の老朽化の状況を調査し、天満小学校長寿命化改修等検討委員会より広く意見を聴取したうえで整備方針及び基本計画を作成した。

○稲美町立教育施設長寿命化改修等検討委員会を年3回開催
（開催日）
第1回：令和7年 9月 2日（委員6人出席）
（議題）長寿命化改修工事に関する説明、意見交換、その他
第2回：令和7年11月28日（委員6人出席）
（議題）長寿命化改修工事の計画方針（案）に関する説明、意見交換、その他
第3回：令和8年 2月18日（委員6人出席）
（議題）長寿命化改修工事の方針に関する説明、意見交換、その他
○天満小学校老朽化調査及び改修基本計画作成支援業務
契約期間：令和7年5月29日～令和8年3月31日
契約業者：株式会社小西建築設計事務所
契約金額：12,177,000円



（天満小学校配置図）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	53,700	円	特定財源			円
需用費	1,470	円				円
委託料	12,177,000	円				円
		円	一般財源		12,232,170	円
計	12,232,170	円	計		12,232,170	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	13,849,000	円	0	円	13,849,000	円
決算額	12,232,170	円	0	円	12,232,170	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	小学校屋内運動場空調設備設置（実施設計）事業	担当課	教育課

科目						
款	10　教育費	項	2　小学校費	目	1　学校管理費	
事業	3　小学校施設維持管理事業			事業費	12,705,000 円	

事業目的

児童の熱中症対策等の健康維持、体育活動等教育環境の向上、及び災害時の避難所としての機能強化のため、町立小学校5校の屋内運動場に空調設備を設置する。

事業内容

小中学校屋内運動場等空調設備設置工事実施設計業務
契約期間：令和7年10月24日～令和8年3月31日
契約業者：株式会社小西建築設計事務所
契約金額：21,780,000円（うち、小学校分12,705,000円）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	12,705,000	円	特定財源	町債	12,500,000	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		205,000	円
計	12,705,000	円	計		12,705,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	12,732,000	円	0	円	12,732,000	円
決算額	12,705,000	円	0	円	12,705,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	小学校体育館照明設備等更新事業	担当課	教育課

科目						
款	10　教育費	項	2　小学校費	目	1　学校管理費	
事業	85　小学校施設維持管理事業（明）			事業費	28,149,000 円	

事業目的

小学校の体育館の照明は、大規模改造事業や体育館照明設備等更新事業により母里小学校、天満小学校、天満東小学校でLED化が完了している。

残る加古小学校、天満南小学校についてもゼロカーボンシティ推進の観点からLED照明へ更新する。

事業内容

（加古小学校）

加古小学校屋内運動場照明設備改修工事（繰越明許）

契約期間：令和7年5月31日～令和7年9月30日

契約業者：株式会社上林電気商会

契約金額：13,574,000円

加古小学校屋内運動場照明設備改修工事監理業務（繰越明許）

契約期間：令和7年5月31日～令和7年9月30日

契約業者：株式会社鷲尾建築設計事務所

契約金額：1,628,000円

（天満南小学校）

天満南小学校屋内運動場照明設備改修工事（繰越明許）

契約期間：令和7年5月31日～令和7年9月30日

契約業者：株式会社上林電気商会

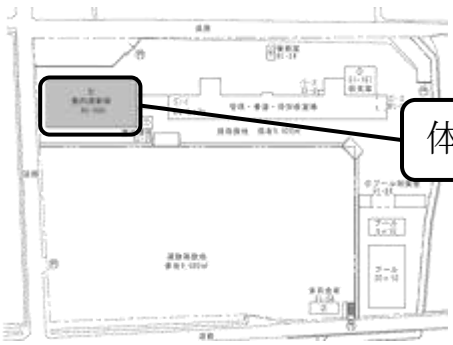
契約金額：11,319,000円

天満南小学校屋内運動場照明設備改修工事監理業務（繰越明許）

契約期間：令和7年5月31日～令和7年9月30日

契約業者：株式会社鷲尾建築設計事務所

契約金額：1,628,000円



（天満南小学校配置図）

（加古小学校配置図）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	3,256,000	円	特定財源	国庫支出金	5,964,000	円
工事請負費	24,893,000	円		町債	11,600,000	円
		円				円
		円	一般財源		10,585,000	円
計	28,149,000	円	計		28,149,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	48,390,000	円	58,678,000	円	△ 10,288,000	円
決算額	28,149,000	円	40,742,900	円	△ 12,593,900	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	中学校屋内運動場等空調設備設置（実施設計）事業	担当課	教育課

科目						
款	10　教育費	項	3　中学校費	目	1　学校管理費	
事業	3　中学校施設維持管理事業			事業費	9,075,000 円	

事業目的	生徒の熱中症対策等の健康維持、体育活動等教育環境の向上、及び災害時の避難所としての機能強化のため、町立中学校2校の屋内運動場等に空調設備を設置する。

事業内容

小中学校屋内運動場等空調設備設置工事実施設計業務
　契約期間：令和7年10月24日～令和8年3月31日
　契約業者：株式会社小西建築設計事務所
　契約金額：21,780,000円（うち、中学校分9,075,000円）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	9,075,000	円	特定財源	町債	9,000,000	円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		75,000	円
計	9,075,000	円	計		9,075,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	9,089,000	円	0	円	9,089,000	円
決算額	9,075,000	円	0	円	9,075,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	中学校エレベーター設置事業	担当課	教育課

科目						
款	10　教育費	項	3　中学校費	目	1　学校管理費	
事業	85　中学校施設維持管理事業（明）			事業費	69,525,400 円	

事業目的

　バリアフリー法の改正（令和2年5月公布、令和3年4月施行）を踏まえ、文部科学省において「公立小中学校等施設のバリアフリー化に関する整備目標」が示され、その中で要配慮児童生徒等が在籍する全ての学校施設にエレベーターを整備することが目標として定められた。また、県の「福祉のまちづくり条例」においても「多数の者が利用する建築物」として学校等に適用された。

　学校施設におけるバリアフリー化を一層推進していく観点から、要配慮児童生徒の移動や学習等の教育活動を円滑に行うため、エレベーターを設置する。

事業内容

稲美中学校昇降機棟増築等工事（繰越明許）
　契約期間：令和7年6月21日～令和8年3月31日
　契約業者：山本建設株式会社
　契約金額：62,480,000円
稲美中学校昇降機棟増築等工事監理業務（繰越明許）
　契約期間：令和7年5月30日～令和8年3月31日
　契約業者：株式会社sora建築デザイン事務所
　契約金額：2,090,000円
稲美中学校昇降機棟増築等工事実施設計業務（繰越明許）
　契約期間：令和6年6月1日～令和7年5月31日
　契約業者：株式会社sora建築デザイン事務所
　契約金額：4,955,400円

（稲美中学校配置図）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	7,045,400	円	特定財源	国庫支出金	15,255,000	円
工事請負費	62,480,000	円		町債	14,900,000	円
		円				円
		円	一般財源		39,370,400	円
計	69,525,400	円	計		69,525,400	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	91,585,000	円	0	円	91,585,000	円
決算額	69,525,400	円	0	円	69,525,400	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	中学校部活動地域移行推進事業	担当課	教　育　課 生涯学習課 文化の森課

科目						
	款	10　教育費	項	3　中学校費	目	2　教育振興費
	事業	4　中学校部活動地域移行推進事業			事業費	7,068,994 円

事業目的	中学校部活動は、スポーツ・文化芸術に興味・関心のある生徒が、教員の指導のもとで、学校教育として放課後・休日に活動している。 国が示している働き方改革を踏まえた部活動改革並びに、運動部活動・文化部活動それぞれの地域移行に関する検討会提言や学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン（スポーツ庁・文化庁）を基にし、休日の部活動の段階的な地域展開を行う。 引き続き、学校、地域、各種団体と検討協議を行うための地域展開推進協議会を設置するとともに、部活動の地域連携や地域クラブ活動を試行する。
事業内容	令和6年度の協議会での方向性、地域指導者による活動の試行の状況を踏まえ、段階的に環境整備を進め、稲美町中学校部活動地域展開についての方針を策定し、地域指導者による休日等の活動を行った。 ○中学校部活動地域展開推進協議会を年4回開催 （開催日） 第1回：令和7年 5月29日（委員13人出席） （議題）令和7年度稲美町中学校部活動地域展開推進事業について、その他 第2回：令和7年 7月29日（委員13人出席） （議題）「稲美町中学校部活動地域展開についての方針」(案)について、その他 第3回：令和7年12月15日（委員13人出席） （議題）「いなチャレ団体募集要項」(案)・「いなチャレ人材バンク登録要項」(案）について、その他 第4回：令和8年 3月19日（委員11人出席） （議題）「いなチャレ団体募集要項」(案)・「いなチャレ人材バンク登録要項」(案）について、その他 ○地域指導者による活動を年間通じて行った種目 運動部：陸上・サッカー・バスケットボール 文化部：吹奏楽

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	3,436,925	円	特定財源	県支出金	5,550,440	円
報償費	2,535,200	円				円
旅費	297,219	円				円
需用費	5,138	円				円
役務費	300,542	円				円
委託料	163,000	円				円
使用料及び貸借料	330,970	円	一般財源		1,518,554	円
計	7,068,994	円	計		7,068,994	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	7,973,000	円	6,985,000	円	988,000	円
決算額	7,068,994	円	6,372,290	円	696,704	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	人権教育啓発事業	担当課	人権教育課

科目						
款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	2　人権教育費	
事業	2　人権教育啓発事業			事業費	4,039,157 円	

事業目的	人権を認めあう人づくり、まちづくりの推進に向け、部落差別の問題をはじめとする様々な人権課題の解決をめざして、人権啓発活動を推進するとともに、児童生徒に対する人権教育や地域における人権学習と交流を通じて、住民の人権意識を高め、差別や偏見のない地域社会の構築をめざす。

事業内容	
	人権教育啓発事業 ○ふれあい学習会　56自治会　1,030人 町内の全自治会とその地域住民を対象に、人権学習会の実施 ○人権啓発講座「ほっとホットセミナー」　5回開催　参加人数156人 さまざまな人権課題に対する理解と認識を高めるために、年5回開催 ○学校園保護者等研修会　8回開催　参加人数1,400人 学校園の保護者等の人権研修について研修費用の支援 ○いなみ人権・福祉フェスティバル　12月5日（土）　参加人数238人 町制施行70周年を記念して心のふれあう温かい人間関係を築き、お互いの人権を尊重する明るいまちづくりをめざすため、人権週間と障害者週間の時期に合わせて開催 ○じんけんわくわくスクール　7回開催　参加のべ人数803人 体験学習を通じて人権課題の解決への力を養う講座の実施 ○人権教育啓発冊子作成　11,500部 人権尊重の文化に満ちたまちづくりを進めるための人権啓発誌の作成 ○稲同教補助金・企同協補助金 部落問題をはじめとして、さまざまな人権課題の解消に取り組む団体に補助

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	569,500	円	特定財源	県支出金	205,000	円
旅費	80,087	円				円
需用費	559,522	円				円
役務費	53,500	円				円
委託料	250,000	円				円
使用料及び貸借料	356,250	円				円
負担金補助及び交付金	2,170,298	円	一般財源		3,834,157	円
計	4,039,157	円	計		4,039,157	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	4,504,000	円	4,506,000	円	△ 2,000	円
決算額	4,039,157	円	4,114,339	円	△ 75,182	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	放課後児童クラブ管理運営事業	担当課	教育課

科目						
款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	4　青少年指導育成費	
事業	1　放課後児童クラブ管理運営事業			事業費	53,629,124 円	

事業目的

放課後に保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に通う子どもたちに、家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者が安心して仕事と子育ての両立ができるように支援する。

事業内容

指定管理により町内全9放課後児童クラブの統一した運営を行う。
・指定管理者　　：　キャレオス 株式会社
・指定管理期間　：　令和5年度 ～ 令和9年度(5年間)

○放課後児童クラブの状況

名　称	住　所	専用面積（保育室・養生室等）	定員①	利用可能人数 ①×1.2
加古放課後児童クラブ	加古2322番地の1	64.80㎡	39人	46人
母里第1放課後児童クラブ	野寺88番地の1	63.00㎡	38人	45人
母里第2放課後児童クラブ	野寺88番地の1	63.00㎡	38人	45人
天満第1放課後児童クラブ	国岡538番地	127.52㎡	77人	92人
天満第2放課後児童クラブ	国岡538番地	85.77㎡	51人	61人
天満第3放課後児童クラブ	国岡538番地	138.08㎡	80人	96人
天満南放課後児童クラブ	森安81番地	63.70㎡	38人	45人
天満東第1放課後児童クラブ	岡1500番地	78.25㎡	47人	56人
天満東第2放課後児童クラブ	岡1500番地	54.00㎡	32人	38人

○放課後児童クラブ利用児童数（延べ人数）

	加古		母里第1		母里第2		天満第1		天満第2		天満第3		天満南		天満東第1		天満東第2	
利用人数	通年	一時	通年	一時	通年	一時	通年	一時	通年	一時	通年	一時	通年	一時	通年	一時	通年	一時
合計	366	118	353	12	335	29	373	100	381	76	747	163	362	115	525	93	326	112

○施設改修
天満南放課後児童クラブランドセル収納棚改修工事
工期：令和7年5月20日～令和7年7月18日　　施工業者：株式会社林工務店
加古放課後児童クラブ床等改修工事
工期：令和7年12月22日～令和8年1月15日　　施工業者：株式会社林工務店

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	220,000	円	特定財源	国庫支出金	18,299,000	円
委託料	45,034,000	円		県支出金	17,097,000	円
工事請負費	725,000	円		諸収入	2,401,468	円
備品購入費	99,000	円				円
負担金補助及び交付金	7,551,124	円	一般財源		15,831,656	円
計	53,629,124	円	計		53,629,124	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	57,257,000	円	55,079,000	円	2,178,000	円
決算額	53,629,124	円	52,639,532	円	989,592	円

令和７年度　主要施策の成果報告

事業名	町史編さん事業	担当課	生涯学習課

科目						
款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	1　社会教育総務費	
事業	2　社会教育活動に要する会計年度任用職員給与費			事業費	7,540,836 円	
款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	5　資料館費	
事業	3　町史編さん事業			事業費	1,924,814 円	

事業目的

稲美町史の発行から約40年が経過し、新たな町史を発行する。総合的で体系化された町史を編さん・発行することにより、住民の郷土に対する愛着の醸成を図るとともに、町に関する貴重な歴史資料を網羅的に収集、整理、保存し、次の世代につないでいく。

事業内容

令和8年度から年次的に「加古地区編」「母里地区編」「天満地区編」を発行し、令和12年度には全地域・全分野の総合的な歴史を網羅する「通史編」、令和13年度には歴史研究の成果や編さんに使用した文献・遺物を編集した「史料編」の発行を予定している。

令和5～6年度　編さん委員会、地区編さん委員会、取材、資料収集、執筆等、「地区編」発行に向けて作業した。

令和7年度　地区編さん委員会4回(加古地区2回、母里地区1回、天満地区1回)、3地区合同編さん委員会2回、地区編さん委員会正副委員長等研修1回、座談会等20回を開催し、町史編さんに向け作業した。
令和8年2月23日（月・祝）には、町制施行70周年記念講演会をふれあい交流館2階ホールで開催し、『地域史と自治体史～「新稲美町史」の新しい試み～』と題した講演と編さん委員も交えたパネルディスカッションを行い、約100人の参加があった。

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	965,594	円	特定財源			千円
職員給与費	7,540,836	円				円
報償費	404,400	円				円
旅費	39,000	円				円
需用費	95,124	円				円
役務費	68,376	円				千円
委託料	102,000	円				千円
使用料及び賃借料	145,200	円				円
備品購入費	105,120	円	一般財源		9,465,650	円
計	9,465,650	円	計		9,465,650	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	10,651,000	円	8,646,771	円	2,004,229	円
決算額	9,465,650	円	7,600,135	円	1,865,515	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	文化会館舞台音響設備等改修事業	担当課	文化の森課

科目						
款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	8　文化の森費	
事業	3　文化の森管理運営事業			事業費	45,485,000 円	

事業目的

文化の森は、建築後32年が経過し老朽化が進んでいる。今年度は文化会館（コスモホール）の音響設備の改修を行い、快適な施設環境の整備を図る。

事業内容

文化会館（コスモホール）の音響設備を改修したことで、音響性能が向上し全席に良質な音が届くようになった。

【施設改修工事査定審査業務】

施設改修審査業務委託料

舞台音響設備出力系及び音響調整卓更新見積審査

委託業者：公益社団法人大阪技術振興協会

委託期間：令和7年6月1日～6月30日　　契約金額：385,000円

【施設改修工事】

舞台音響設備等改修工事

文化会館（コスモホール）舞台音響設備出力系及び音響調整卓更新

施工業者：ヤマハサウンドシステム株式会社

工期：令和7年7月23日～8月31日　　契約金額：45,100,000円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	385,000	円	特定財源			円
工事請負費	45,100,000	円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		45,485,000	円
計	45,485,000	円	計		45,485,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	49,892,000	円	0	円	49,892,000	円
決算額	45,485,000	円	0	円	45,485,000	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	子どもの読書活動推進計画策定事業	担当課	文化の森課

科目						
款	10　教育費	項	5　社会教育費	目	11　図書館費	
事業	1　図書館管理運営事業			事業費	35,800 円	

事業目的

「子どもの読書活動の推進に関する法律」や、県の「ひょうご子どもの読書活動推進計画」を基に、「稲美町子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動に関する意義を普及するとともに、読書環境を整備し、学校・家庭・地域をはじめとした社会全体で子どもの自主的な読書活動の推進を図る。

事業内容

【実績】

・令和6年度、令和7年度の2か年で計画を策定

・図書館協議会委員5人が子ども読書活動推進計画策定委員を兼務して協議

（図書館協議会の開催回数：令和6年度は年4回、令和7年度は年2回）

・アンケート調査：令和6年12月にウェブアンケート（回収率84.1%・1,133人中953人）

対象:小学校3・6年生・中学校3年生の本人/4歳児・小学校1年生の保護者

・アンケート調査の集計:令和7年3月（当計画の資料編として添付）

『稲美町子どもの読書活動推進計画』策定と公表

・令和7年10月策定

・稲美町ホームページ内へ掲載

・計画の期間：令和7年度～令和11年度

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報酬	35,800	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		35,800	円
計	35,800	円	計		35,800	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	72,000	円	72,000	円	0	円
決算額	35,800	円	68,600	円	△ 32,800	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	トップアスリート招待事業	担当課	生涯学習課

科目						
款	10　教育費	項	6　保健体育費	目	1　保健体育費	
事業	1　生涯スポーツ推進事業			事業費	1,147,497 円	

事業目的

稲美町スポーツ推進計画の政策目標のひとつである「“する・みる・ささえる”スポーツの推進」を実現するため、トップアスリートを招待して講演会やスポーツ教室を開催し、スポーツに親しむきっかけづくりの場を提供する。また、トップアスリートに接することにより競技の楽しさや難しさなどを間近で感じることで、スポーツの楽しさを共有するとともに、運動・スポーツを楽しむ習慣を身につけ、世界に羽ばたくスポーツ選手が育つオンリーワンな人づくり、まちづくりの実現をめざす。

事業内容

町制施行70周年を記念して、70歳の誕生日を迎えられた元阪神タイガースの掛布雅之氏を招待して講演会を開催した。参加者へのアンケート調査では80％以上の人からとても満足という回答が得られた。

開 催 日：令和7年7月5日（土）
場　　所：コスモホール
内　　容：講演会
講　　師：掛布雅之氏
演　　題：掛布雅之70年の歩み
　　～野球は私に何を教えてくれたか～
委 託 先：株式会社システムブレーン
契約金額：788,020円
入場者数：492人

歳　出			歳　入（財源内訳）			
報償費	27,000	円	特定財源			円
需用費	99,443	円				円
役務費	25,500	円				円
委託料	930,204	円				円
使用料及び賃借料	65,350	円				円
		円	一般財源		1,147,497	円
計	1,147,497	円	計		1,147,497	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	1,303,000	円	1,000,000	円	303,000	円
決算額	1,147,497	円	1,000,000	円	147,497	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	いなみ野体育センター空調設備設置事業	担当課	生涯学習課

科目						
款	10　教育費	項	6　保健体育費	目	2　体育施設費	
事業	2　スポーツ施設管理運営事業 85　スポーツ施設管理運営事業（明）			事業費	170,197,500 円	

事業目的

稲美町スポーツ推進計画の基本目標のひとつである「身近なスポーツ環境・プログラムの整備」の実現のため、いなみ野体育センター（昭和60（1985）年建築）に空調設備を整備し、施設利用者の利便性の向上を図る。また、災害時の避難場所にも指定されており、災害時における住民の安全安心につなげる。

事業内容

いなみ野体育センター空調設備実施設計に基づき、いなみ野体育センターの空調設備設置工事を実施した。設置工事は令和8年3月に完了し、令和8年夏から使用可能な状態となった。

あわせて、クーリングシェルターに指定されているロビー部分及び管理事務所内の空調も更新した。

内容	業者	期間	金額
○基礎調査	㈱フタバ設計	令和6年 6月 5日～令和6年12月20日	2,398,000円
○実施設計	㈱フタバ設計	令和6年12月20日～令和7年 5月22日	2,494,800円
○監理業務	嶋本一級建築士事務所	令和7年 7月 1日～令和8年 3月31日	2,706,000円
○本体工事	テラマエ設備工業㈱	令和7年 7月18日～令和8年 3月31日	160,600,000円
○付帯工事	テラマエ設備工業㈱	令和8年 1月17日～令和8年 3月31日	1,998,700円

輻射パネル

室外機

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	7,598,800	円	特定財源	町債	168,900,000	円
工事請負費	162,598,700	円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		1,297,500	円
計	170,197,500	円	計		170,197,500	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	173,319,000	円	0	円	173,319,000	円
決算額	170,197,500	円	0	円	170,197,500	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	学校給食費管理事業	担当課	教育課

科目						
款	10　教育費	項	6　保健体育費	目	3　学校給食費	
事業	6　学校給食費管理事業			事業費	164,370,418 円	

事業目的

　小中学校で提供している学校給食費の徴収や管理を町が実施することで、教員の負担軽減を行うとともに、学校給食の安定的な実施と充実を図る。
　また、社会情勢などの影響による食材価格の高騰が続いている中で、現在の食材価格の水準で必要となる食材費と、保護者が負担する給食費との差額を町が負担することにより、子育て世代の経済的負担の軽減を図る。

事業内容

【学校給食管理業務】
○学校給食費の口座振替等徴収業務
　口座振替件数：26,539件
○学校給食物資の支払業務
　歳出（需用費（食糧費））　161,076,314円
○標準化に伴う学校給食費管理システムの改修業務
　契約業者：株式会社さくらケーシーエス
　契約期間：令和7年12月2日～令和8年3月31日
　契約金額：1,072,500円

【単価上昇に伴う給食費等について】
○年間食数
　小学校（児童）：292,848食　　中学校（生徒）：135,745食
○歳入（学校給食費負担金現年度分）
　調定額：130,056,263円　　収入額：129,108,980円　令和7年度滞納繰越額：947,283円
　※ 保護者負担分：小学校給食費　257円／食、中学校給食費　290円／食
○町負担分（物価高騰支援分）　※児童生徒分
　小学校給食費　18,476千円　　中学校給食費　11,977千円
　※ 1食単価　小学校：320円（うち、町負担分63円）中学校378円（うち、町負担分88円）

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
需用費	161,076,314	円	特定財源	諸収入	129,242,980	円
役務費	505,604	円				円
委託料	2,788,500	円				円
		円	一般財源		35,127,438	円
計	164,370,418	円	計		164,370,418	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	172,785,000	円	0	円	172,785,000	円
決算額	164,370,418	円	0	円	164,370,418	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	西部配水場更新事業	担当課	水道課

科目						
款	1　資本的支出	項	1　建設改良費	目	1　工事費	
事業	西部配水場更新事業			事業費	11,200,000 円	

事業目的

西部配水場は建築後52年が経過し老朽化が進んでいる。安全安心なおいしい水の供給を維持するため、令和5年度から3か年で更新工事を行う。

更新工事に合わせ、第1配水池を適正な容量に縮減し、吸水槽を多層化し施設の高効率化を図る。

事業内容

建築後52年を経過した西部配水場の改修、第1配水池の改築等を行う。また、配水機能を改築する第1配水池へ移設し、第1配水池を配水場及び配水池とする。既配水場は、配水管理施設として活用する。既存施設の外壁塗装に含まれるアスベスト対策も同時に実施する。

なお、水道供給に影響がないよう既設配水場内の工事を慎重に施工するため、令和8年度に繰越し工事を継続して実施する。

【実績及び見込】

〇委託料

西部配水場更新工事施工監理業務（履行期間 令和5年8月2日～令和8年6月30日）

委託業者　株式会社 相互設計事務所　　契約金額　39,600,000円

うち、 令和7年度対象金額 14,000,000円

令和7年度支払額 11,200,000円

西部配水場更新工事支援業務（履行期間 令和7年4月1日～令和8年6月30日）

委託業者　公益財団法人 まちづくり技術センター　　契約金額　6,754,000円

〇請負工事費

西部配水場更新工事（工事期間 令和5年6月29日～令和8年6月30日）

請負業者　株式会社 ハマダ　　契約金額　2,411,559,700円

うち、 令和7年度対象金額 1,320,359,700円

・第1配水池の改築及び連絡管整備　　・既配水場内装改修

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	11,200,000	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		11,200,000	円
計	11,200,000	円	計		11,200,000	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	1,368,433,000	円	1,030,900,000	円	337,533,000	円
決算額	11,200,000	円	1,030,843,900	円	△ 1,019,643,900	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	稲美町水道事業経営戦略策定事業	担当課	水道課

科目						
款	1　資本的支出	項	1　建設改良費	目	1　工事費	
事業	稲美町水道事業経営戦略策定事業			事業費	2,461,800 円	

事業目的

稲美町水道事業経営戦略は、計画期間を令和3年度からの10年間とし水道ビジョン策定に合わせ、水道事業の計画的かつ合理的な経営を行うことによる収支改善等を通じた経営基盤の強化を図るため令和2年度に策定した。

計画策定から5年が経過するため、水道使用量減少に伴う料金収入の減少と施設の老朽化等の対策費用の確保のための料金改定、物価高騰による維持管理費や資材価格の上昇による費用の増加など、水道事業を取り巻く環境の変化などを考慮した経営戦略の見直しを行う。

○稲美町水道事業経営戦略

過去5年間の実績、今後5年間の計画とそれに伴う概算事業費等を考慮した経営戦略を見直し、新たに令和8年度から令和17年度（10年間）の経営戦略を策定した。

【実績】

稲美町水道事業及び下水道事業経営戦略策定業務

委託業者　　一般社団法人 行政経営支援機構

履行期間　　令和7年9月5日 ～ 令和8年3月31日

契約金額　　8,206,000円

うち、 水道事業　　2,461,800円

下水道事業　5,744,200円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	2,461,800	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		2,461,800	円
計	2,461,800	円	計		2,461,800	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	3,267,000	円	0	円	3,267,000	円
決算額	2,461,800	円	0	円	2,461,800	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	稲美町下水道事業経営戦略策定事業	担当課	水道課

科目						
	款	1　資本的支出	項	1　建設改良費	目	1　汚水管渠建設改良費
	事業	稲美町下水道事業経営戦略策定事業			事業費	5,744,200 円

事業目的	
	稲美町下水道事業経営戦略は、計画期間を令和3年度からの10年間として、下水道事業の計画的かつ合理的な経営を行うことによる収支改善等を通じた経営基盤の強化を図るため令和2年度に策定した。 計画策定から5年が経過するため、物価高騰による維持管理費や資材価格の上昇による費用の増加や農業集落排水施設の公共下水道事業への統合など、下水道事業を取り巻く環境の変化などを考慮した経営戦略の見直しを行う。

○稲美町下水道事業経営戦略

過去5年間の実績、今後5年間の計画とそれに伴う概算事業費等を考慮した経営戦略を見直し、新たに令和8年度から令和17年度（10年間）の経営戦略を策定した。

【実績】

稲美町水道事業及び下水道事業経営戦略策定業務

委託業者　　一般社団法人 行政経営支援機構

履行期間　　令和7年9月5日 ～ 令和8年3月31日

契約金額　　8,206,000円

うち、 水道事業　　2,461,800円

下水道事業　5,744,200円

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
委託料	5,744,200	円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		5,744,200	円
計	5,744,200	円	計		5,744,200	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	7,425,000	円	0	円	7,425,000	円
決算額	5,744,200	円	0	円	5,744,200	円

令和７年度決算　主要施策の成果報告

事業名	下水道広域化推進総合事業	担当課	水道課

科目						
	款	1　資本的支出	項	1　建設改良費	目	1　汚水管渠建設改良費
	事業	下水道広域化推進総合事業			事業費	0 円

事業目的

稲美町公共下水道事業は、加古川下流流域下水道事業として公共下水道計画区域を設定し、昭和63（1988）年度に事業認可を受け計画的に事業を実施している。また、公共下水道計画区域以外の区域は、農業集落排水事業等を活用し生活排水の処理を行っている。

国は「経済・財政再生計画改革工程表2017改定版」において、持続的な下水道運営に向けた「広域化・共同化計画」を令和4年度までに策定する目標を設定し、兵庫県は令和5年3月に「兵庫県生活排水広域化・共同化計画」を策定し、農業集落排水処理場を含む下水道処理施設の統合に向けた計画が示された。

当町の農業集落排水事業は、下草谷地区外7地区を整備し生活排水の処理を行っている。

各地区の処理場は、平成24（2012）年度から平成30（2018）年度に処理槽や機器等の大規模改修を実施しているが、建築後約20年を経過した建物や機器の老朽化に伴う維持改修に多額の費用が想定されるため、農業集落排水事業区域を公共下水道事業区域に統合し、稲美町の生活排水の安定した処理と効率化を図る。

事業内容

兵庫県生活排水広域化・共同計画（計画期間：令和4年度～令和33年度（30年間））

令和7年度は、令和6年度に作成した汚水処理施設整備構想を基に、令和8年度以降に予定している都市計画及び下水道事業計画の変更に向け、県及び関係市町と調整、協議を行う。

農業集落排水区域の公共下水道計画区域への編入計画（予定）

令和6～7年度	加古川下流流域下水道関連団体との協議
	汚水処理施設整備構想の策定
令和8年度	都市計画事業の変更認可申請
	生活排水処理計画の変更
令和8～9年度	加古川流域下水道事業認可変更申請【県】
	稲美町公共下水道事業計画認可変更申請

【実績】

県及び加古川下流流域下水道関連市町を調整・協議の実施

決算額

歳　出			歳　入（財源内訳）			
		円	特定財源			円
		円				円
		円				円
		円				円
		円				円
		円	一般財源		0	円
計	0	円	計		0	円

	当年度		前年度		増減	
予算現額	0	円	22,220,000	円	△ 22,220,000	円
決算額	0	円	17,270,000	円	△ 17,270,000	円

町制施行７０周年記念事業　主要事業一覧

No.	事業名	実施時期
1	70周年カウントダウン	令和7年2月～3月
2	住民企画支援事業	令和7年4月～
3	町勢要覧作成	令和7年7月
4	町制施行70周年記念式典	令和7年11月1日（土）
5	みんなでお祝い『＃いなみ70』	通年
6	周年事業啓発事業	通年
7	70周年記念動画コンテスト	令和7年6月2日（月） ～令和8年1月31日（土）
8	記念切手の販売	令和7年10月1日（水） ～令和8年4月30日（木）
9	巡回ラジオ体操・みんなの体操会	令和7年8月14日（木）
10	子育て支援事業親子コンサート	令和8年1月18日（日）
11	70周年アマチュア無線記念局の開設	通年
12	地球温暖化防止講演会	令和7年9月6日（土）
13	70周年記念花火大会	令和7年11月1日（土）
14	子ども議会	令和7年8月5日（火）
15	学校給食人気投票・学校給食展	令和7年8月7日（木） ～令和7年8月8日（金）
16	稲美町史編さん記念講演会	令和8年2月23日（月・祝）
17	トップアスリート招待事業	令和7年7月5日（土）
18	文化会館管理運営事業（コスモホール文化振興協会自主事業）	通年

会場等	実績	担当課
町内	令和7年3月31日に向け、住民等に出演してもらい、カウントダウンを町ホームページ上で実施し、住民の皆さんの機運醸成を図った。	企画課
－	住民協働のまちづくりを推進するため、3団体(稲美演劇サークル「龍の子」・稲美野将棋倶楽部・稲美町遺族会)が企画、実施する70周年をともにお祝いする事業に補助金を交付した。	
－	町勢要覧(3,000部)及び70周年記念動画(2種類)を制作した。	
コスモホール	町功労者に対する感謝と敬意を表するとともに、70周年の節目を住民の皆様とともに祝った。（表彰：38人　感謝：68人）	
町内	住民参加型事業として、インスタグラムで投稿できる「#いなみ70」で70周年を住民とともにお祝いした。	
－	クリアファイル(5,000枚)、缶バッジ(3種類 各1,000個)、懸垂幕(2枚)等の各種啓発グッズを作製し、70周年を広く周知した。	
町内	町の魅力をPRするショート動画を一般公募し、町ホームページ・町公式YouTubeチャンネル、デジタルサイネージ等で放映した。(応募件数：5件　表彰件数：3件（優秀賞3件）)	
町内の郵便局等	70周年を記念して、オリジナルフレーム切手を作成し、町内の郵便局等で販売した。(販売数：300シート 各シート110円切手5枚)	
稲美中央公園グラウンド	住民が一堂に会して運動することにより、楽しさや喜びを享受し、健康で豊かに暮らすことができるよう、巡回ラジオ体操・みんなの体操会を開催した。(参加者：830人)	健康福祉課
コスモホール	就学前の親子などが、一緒に歌って踊って楽しい時間を過ごす「ケロポンズファミリーコンサート」を開催した。(参加者：831人)	こども課
コスモホールなど	70周年を記念してアマチュア無線局を開設し、70周年をPRするとともに、稲美町の情報、魅力等を発信した。	危機管理課
コスモホール	地球温暖化防止に関する内容で、最近の異常気象についての内容を中心に、天気予報士である正木明氏の講演会を開催した。(参加者：390人)	生活環境課
町内3か所	記念式典開催日の夜に花火を町内3か所で打ち上げた。（合計1,500発）	産業課
議場	70周年を記念し、次代を担う子どもたちが「子ども議会」の体験を通して議会の仕組みを理解するとともに、自らまちづくりに参画していこうとする意識の醸成を図った。(参加者：14人)	議会事務局
ふれあい交流館	全校生アンケートで児童生徒に好きな学校給食メニューの主菜を投票してもらい、上位となったメニューを学校給食展で試食してもらうことで広く周知した。	教育課
ふれあい交流館2階ホール	70周年と町史の新規編さんを記念し、住民等を対象とした記念講演会を開催し稲美町のこれまでの歩みを振り返るとともに郷土愛の醸成を図った。(参加者：約100人)	生涯学習課
コスモホール	トップアスリートである元阪神タイガースの掛布雅之氏を招待して講演会を開催し、スポーツに親しむきっかけづくりの場を提供した。(参加者：492人)	
コスモホール	自主事業の内容を拡充して実施し、コスモホールの利用促進・拡大を図るとともに、芸術・創造活動の育成を進め、文化の振興を図った。	文化の森課